男女貞潔之理想　會長 島田三郎

公娼廢止之主張　副會長 安部磯雄

6 — 303

廓清

第十一巻十月號

□廓清會の十週年……廓清會長 島田三郎
□米國禁酒の實績……廓清會副會長 早大教授 安部磯雄
□新日本躍進時代……廓清會理事 高島米峰
□賣笑婦と都市の影響……横濱市社會課 木藤冷劍
□祖國に歸りて……牧師 額賀鹿之助
□全國の處女よ起て……婦人矯風會總幹事 久布白落實
□善をなす最も樂し……救世軍大佐 山室軍平
□自己教育……文學博士 三宅雄次郎
□社會運動者の取締……辯護士 布施辰治
□憐れなる呼吸者……遠藤德治
□謎の世界吉原日記……前吉原病院看護婦 田口和子
□水の流れ……小林隆之助
□能代支部大會……能代支部幹事 淺野吉十郎
□編輯の後……圭英生

東京 廓清會本部 發行

明治四十四年八月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正十年十月十日印刷）
（大正十年十月十日發行）
（毎月一回十日發行）

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

廓清

THE PURITY

大正十年十月

第十一卷第九號

廓清會の十週年

廓清會長　島田三郎

□廓清會設立の由來及目的

此廓清會を創立してから丁度十年になるので、其の記念として今晩より三日間連續演說會を催ふすのである。十年間の星霜長きが如くであるが經へ來れば誠に短いものである。此十年間に廓清會が如何なる事をなしたるか其の大要を報告せん。其の以前に奇怪に感ぜらるゝ事柄に就き一言したきは、我國に於て永き間道德に背き人倫に戻る所の人身賣買たる公娼制度を許し來つたことである。今より三十有餘年前、植木枝盛君と申す公娼廢止に熱心なる政治家があつたので、私は同君と共に議會の開ける一年前、當時京橋區木挽町にあつた明治會堂に演說會を開いて公娼廢止を絕叫したのであるが、其の當時の多くの人々は吾々に共鳴せず、僅かに婦人矯風會が贊成して呉れただけであつた。その恐ろしき人身賣買は阿弗利加の中央のみならず、今日猶ほ我國にもあると云ふことは、誠に痛歎すべきである。

救世軍の御方が、公娼は人道上背理の至りであるから、勿論廢止すべきであるが、若し政府當局に於て公娼廢止が出來ぬとしても、彼等娼妓の自由意思に依つて廢業し得べき自由解放の途を講ぜねばならぬことを感ぜられて、その運動を始められた。此新しき聲と新しき運動の爲めに、救世軍の士官中暴人に襲はれたお方もあつた。然し是等の運動が世の中に一種の波動を起して、金錢上の問題と自由廢業とは別問題であると云ふ事が漸次諒解せらるゝ樣になつて、娼妓なる者は金錢上の關係の爲めに、其の意に反して賣淫を强いらるべきものでないと云ふことになつた。今を遡ること

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

十年前卽ち明治四十四年四月吉原に大火ありたるを好機とし我が同志の人々が公娼廢止の運動を始められたのであるが、私はその當時海外にありて、運動の央に歸朝したのである。兎に角數百年間傳統し來りたる惡習を打ち碎くのであるから却々困難であり政府も斷行出來ず其の儘に放任せられたのである。其の當時日本に來られた英人グレゴリーと申す人は、此方面に於ける萬國廢娼同盟會の主事で非常に老巧の人であつて、熱心に盡力し活動せられたので世人の注意を喚起した。又我廓清會の組織せられ活動し始めたのは、明治四十四年六月であつてその趣意書の第一條に「本會の目的は男女間に貞潔の德操を奬め公娼制度を廢止するにあり」とあるのである。

□廓清會の運動及事業

世には掃き溜めや下水の如き醜汚なるものは、之を公にして恥の恥たらしむることも罷めさせる必要がある。藝妓は純粹の藝を賣るものにあらずして、他に賣淫の行爲があると云ふことは天下周知の事實である。又海外醜業婦の如きは、我國の體面上忍ぶべからざる汚點である。如何なる職業を問はず正當なる勤勞は結構であるが、此淫風と惡習とを諸所に傳播せしむることは不可い。又是等の醜業婦は奴隷と同じ境遇にあるのであつて、總て斯くの如き惡慣習は誠に嘆息すべきである。日本人が歐米人に嫌はるゝ重なる原因の一は、此醜業婦のある爲めである。世界に有名なるものは、支那人の賭博と日本醜業婦の淫賣の二事である。由來人倫の大道から云ふならば、一夫一婦である。然るに我國には一夫多妻の惡風が殘つて居つて、風俗頽敗の原因をなしてゐるのである。

私娼に就ては、若し一般國民が衞生上に注意するならば近つかれぬ譯であるが、實際はさう云ふ譯に行かず種々の害毒を受くるのである。それ故に我廓清會は一方には青年の品行を正しくし、私娼の抑制をやることにも努力したのである又廓淸演說會を開き地方遊說をもなし此方面の開發に努め殊に毎月機關雜誌「廓清」を發行して會員に配付し、尙ほ地方長官及直接公娼其の他風紀取締の當局者たる警察部へ無代送付したのである。又從來は警察の方では娼妓の前借金に拘泥し、自由廢業の出來ぬ樣に仕向けたのであるが、中村元嘉と云ふ橫濱地方裁判所長が、「前借金の何如に拘はらず自由廢業をなし得る」と云ふ判決を與へたのである。斯の司法官の方は能く物の道理が解つて居るけれども、警察官吏の方は總て割合に理會せぬから、吾々は此人々の頭を敎育しなければならぬと云ふので、雜誌を送つたのであるが、餘程有効であつたことを認め得るのである。遊廓の設置に就ても過てる思想と一種利慾の發動とが結び付て新設の患があるは紀州の新宮が其の一例である。同所は船着き場であるから藝妓及私娼が淫賣するので、衞生上困るから新たに公娼を許すことにしやうとの説が起つたが、反對論が微弱であつたために遂に遊廓を設くることになつた。由來關西地方で遊廓のない箇所は和歌山縣だけであつたのに、唯新開地の價格を騰貴せしむる野心家の不正なる運動に因つて之を設くるに至りたる結果、淫風著しく盛んになつて藝娼妓共意外の多數となり、今て

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

は其の地方の人人は之を悔いて居るとのことである。

□廓清會運動の効果

又大正三年二月、大阪灘波新地の遊廓が燒失した此地は梅田驛近傍の樞要地にあるので、吾々は不體裁至極であると平生思ふて居たから此燒失の機會を把らへて移轉の運動をなしその道理を説いて大阪市民に訴へたのであるが、幸にして市民の耳を傾けしめ、且つ有力なる新聞が吾吾の味方となりて大いに努力し、遂は移轉を斷行せしむるに至つたことは全廢の快擧に尚遠いも兎に角社會進步の一徵候である。又東京の吉原に花魁道中なるものがあつた。之は娼妓が白晝行列をなして一種の示威的運動をするのみならず、一面奇怪なる誘惑的行爲となるのであるから、吾々は之が禁止の運動をなした處が、警視廳も之を容れて、大正四年四月之を禁止することとなつた。

又吾々は同年十一月天皇陛下御卽位式奉祝の公會に藝妓を參せしめて其間に周旋せしむることは此尊嚴にして聖き式を汚す事になると云ふので、多くの官吏學者教育家實業家其の他の有識者の意見をも問ふて、藝妓を參座せしめざることに贊成を求め運動した結果、全國三分の二以上の府縣では藝妓を參列せしめぬことゝなつた。斯く考へると吾々の力弱しと雖も、至誠を以て活動するならば相當の効果があるものである。栃木縣の足利町にも藝妓行列の企てがあつたが、町の青年會が之に反對して遂に之を中止することゝなつた。私は同地に友人があるので、其の費用を如何に轉用すべきやとの質問を受けた。由來同町は、參議小野篁が奥州へ行く途中暫時滯在した處であつて、篁の遺物もあり、北條足利及德川初期の時代にも同町へ書物を寄附した緣故もある。殊に古い論語の書物卽ち本文の變つて居るものが、日本の内で唯同町の文庫に一部あるだけである。斯く由緒ある文庫であり且つ火災等の危險があるから、倉庫を建てゝ藏書其の他の安全を圖り尚ほ孔子廟及足利學校、足利文庫の永久保存の施設をすることを勸め、同地の人々も我が說を容れて斷行したのである。藝妓行列の醜穢なる費用が斯くの如き高潔なる費途に轉用せられた事は、青年の力に依つて惡を食ひ留め善に至らしめたのである。實に意外なる間接の影響を與へたことである。そして其の竣功式に、私と本會評議員井上哲次郎君と二人で參り、之を祝福したのである。

□廓清會の目的及事業の擴張

もう一つ二つ御報告する事がある。それは娼妓なる人間を張店と稱し曝し物にすること、恰も大根や魚を列べると同じである。是れは甚だ不都合であると信じたから警視廳に向つて、屢其不都合を論じたのであるが、時の保安部長丸山鶴吉君は、吾々同志の說を容れて人道上甚だ宜くないと云ふ理由の下に之を禁止することゝなつた。又藝妓屋では親權を濫用して多くの婦女を幼少の時より形式上養女として貰ひ受くるのであるが、その實是等の婦女を買ひ取るのである。そして買ひ取つた者を數年の後藝妓として働かしめ、且つ遊蕩紳士に賣り付けるのである。それ故に藝妓屋（多くは女主人）は

壹人の女主人で十人又は二十人の養女を抱へ居りて表面に藝妓事實は淫賣婦を所有して居る。單に表向きだけの養女であつて親權の濫用である。婦人矯風會や救世軍のお方が此方面の救濟に力を注ぎ、憐れなる婦女を助けられた。そして我々は又其不法を屢痛論した結果裁判所の問題となり、遂に大審院に於て「藝妓屋の養女は形式のみであつて、眞の親子の關係はないのである」と云ふ判決を下し、更に内務省は全國に通牒を發して親權無効の旨を明にするに至つたのである。

又海外醜業婦を馬來半島に於て擊退したことは痛快事である。それは新嘉坡を中心として馬來半島全體に醜業婦が跋扈して、英國人も非常に困つて居たのであるが、我廓清雜誌は特に此問題を論じ、梅森牧師は此の議論を掲げたる廓清雜誌を多數携へて態々新嘉坡へ出掛けて行つて大活動をなし、又當會の益富伊藤兩氏が外務省へ出頭して其の事情を詳述し、その結果新嘉坡領事竝に同地日本人會は斷然醜業婦追放を斷行することゝなり、英國の迷惑と我國の汚辱を除くために官民相應じて之を擊退し、全く同地方を廓清することゝなつたのである。又出羽の能代や紀州の和歌山信州の辰野を始め最近には尼ケ崎大牟田等に遊廓新設の議があつた時にも、本會は極力反對し、そして彼等野心家をして不成功に終らしめたことは十指を屈するも足らない程である。要するに遊廓新設の運動は、其の地方の地價騰貴を企圖する官民野心家の不正行爲である。

更に我が廓清會は大正八年規則を改めて第一條を引延ばし「公娼制度を廢止し推して男女間に貞潔の德操を奬め、且つ各種の方面より社會を廓清するにあり」となし、禁酒問題勞働問題選擧權問題朝鮮問題國際問題其の他凡有社會矯風的の問題を取り入るゝことゝなり、一層責任の重きを感じてゐるのである。目下の會員數五千名であり支部十ケ所あるのである。

今日は是れより各辯士が演說せられ三日間引續き廓清會の主義や抱負に就き詳述せられますから、諸君の御靜聽を希望致します。

◎大阪市の遊興費

都市計畫大阪地方委員會にては此程風紀地區の豫備調査を遂げた料理屋、貸座敷、待合、飲食店等を合して都市計畫區域内にある戸數は郡部に於て三千三百六十九戸二千六百九十三戸合計六千六十二戸その内最も多いのが飲食店の二千四百四戸次が貸座敷の千六百三十七戸である、その遊興幇助者たる藝妓、娼妓、酌人、幇間等の數は市部一萬二千三百三十六人郡部三千三百五十八人計、二萬五千六百九十四人でその内娼妓が七千三百三十七人で最も多く次が藝妓の五千二百一人である街遊興幇助者とは言はれないが俳優が三百五十四人力士が五十八人居る。

而してその遊興客を見る時は京部に於て一箇年三百五十七萬人郡部六十九萬人計四百二十六萬人に達しその遊興費が花代に於ては市部一千百三十七萬二千圓郡部二百二十五萬三千圓計千三百六十二萬五千圓に上り之れを娼妓に分ける時は藝妓の方が六百九十萬圓娼妓六百七十萬圓となる。次に之れに附隨する酒肴代は市部に於て二百九十一萬圓郡部五十萬圓四千圓計三百四十一萬四千圓となる。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

米國禁酒の成績

廓清會副會長　安部磯雄

□禁酒令後の亞米利加

米國が禁酒したに就て、或人の觀る處では、どうも之は失敗だといふ。又或人は決してさうではない成功だといふ。色々其の議論があるが、これは隨分大問題で、一部だけを見て容易に判斷することは六ヶ敷い。

私共も實際の事實を云へば、今度旅行してゐる内に、相當の位置に居る人が酒を飮んでゐるのを見た、又酒の匂がしてゐるのを知つた。宿屋でも醉拂を見受けた。確に規則違反をして酒を密造して飮んでゐる人がある。また高い金を出しさへすれば、買へるといふのも事實である。殊に甚しきは禁酒令を敷くといふことが分つてゐたから、金のある人は隨分買込んでゐて今でも困らぬ。然るに貧乏人は全く飮むことが出來ないから甚だ不公平だといふ。これも確に或程度迄は事實である。

も一つ爭はれぬ事實は、禁酒國になつたから、今迄葡萄酒を作る爲めに葡萄を栽培してゐた者が、全く悲觀して一時は職業換へをしなくてならぬと、賣拂ふ考へをしてゐたのが、全く豫想に反して、禁酒令を布かれた後は反對に三倍位に騰貴し、非常な儲をしてゐる。これなどを見ても嚴密に實行されぬことは分る。葡萄は汁を絞つて抛つて置けば、すぐに醱酵して葡萄酒になるのであるから密造が容易である。布哇に於ては日本人の中に犯す者が多く、新聞に始終出る。又同時に日本人の間に糀が賣れる。之は家庭内に酒を造つてゐる證據である

□誤れる諸種の非難

ところが私が解釋してゐるのでは、政府も餘程に加減をして、法律があつても法律を勵行して居らぬ。併し之は私の考では賢いやり方であると思ふ。これを勵行したら却つて害を生ずるから、今迄飮んでゐる者は仕方がないから大目に見て置けといふので、確に賢いやり方である。

酒飮み黨の方からいふと、彼等の議論はいつでも定つてゐる議論で、人の自由を奪ふといふ。米國の法律でいふても、デモクラシーの方からいふても、人の自由は尊重しなくはならぬ、といふ樣なことを眞面目にいふてゐる。中立の論者の中にも斯ういふ意見を持つてゐる者がある。けれども人の自由といふものは、絕對のものではない。さういふことを云ふなら、博奕はどうであるか、花をひくといふことは遊戲ではないか、從つて之を禁ずるのは人の自由を束縛することになる、だから要するに人の自由といふものも世の中に害をなす種類のものであるならば束縛してもよいのであつて、斯うい

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ふ議論は取るに足らぬ。

第二に酒を禁ずるから其の代りに惡い物を飲む、それは非常に有害な性質のものを代用に飲んでゐるから、國民の健康上却つて非常に惡い結果になるといふ。これも或程度まで事實であらう。更にかういふ反對がある。法律などで禁ずると却つて反動を起してこつそり飲むから、禁酒前より却つて酒を飲む者が多いといふのである。いふ方も反對の側も統計を擧げて明證することが出來ぬが、併しこれは云へまいと思ふ一部分の觀察に過ぎずして、全體から云へば禁酒令が出た爲めに、若い人にはさういふ習慣をつけぬだらうし、飲んでもよし飲まぬでもよしの人達は飲むのを止めるだらうと思ふ。これは水掛論であるが、私は米國の禁酒に就て悲觀してゐない。寧ろ禁酒の効果が着々として擧つてゐるのを信ずる、それを少しくお話して見たいと思ふ。

□菓子の需用增加す

私は暇さへあればさういふことに就て尋ねたが、それは禁酒が行はれた爲めに菓子の需要が著しく殖えた。之は確に事實である。酒を飲まない、その代りに内の者を喜ばしやうと菓子を買つて歸る。友達の訪問にも菓子を買ふといふ風になつた。そこで菓子が殖えたことが事實なら、同時に其反面に酒が減つたことを認めざるを得ぬであらう。また著しく增したのは家庭の裝飾品家具の需要が大變に殖えた。外で以て酒を飲んで樂しむよりも、内で家族と共に樂しまうといふ精神が殖えた。芝居や活動やオペラも非常に殖えた——以前からさういふ傾向があつたが、今の亞米利加は不景氣に拘らず——これもよい現象で、酒店に入浸りの習慣が寧ろ害のない娯樂に代つて來た。かういふ風にして段々調べて來ると酒を飲まない習慣に向つて居るに相違ない。今度旅行して非常に愉快に感じたのは、日本の野球團は到る處歡迎會を開いて與れるが、以前は必ず酒が出る、いつも私は拒絶してゐたのであるが、場合によると主人側だけで飲む。ところが今度の旅行には歡迎會には酒は出ない。一人々々はこそ〳〵飲んでゐる人であつても、公の會合では決して酒を用ひない。校友會でも何でも酒を出さぬ。斯ういふ風に酒を遠慮しなければならぬ様になつたから、從つて酒をのむ機會が減じて酒の需要が少くなつた筈である。

□二十年後米國を觀よ

併し前に述べた通り、密造もあり政府も寛大であるから、こゝ十年位の間にはさう著しい效果は現はれぬかも知れぬ。けれども今の十七八歳の青年が飲酒の習慣なしに長ずるから、十年二十年經つと、三十歳四十歳以下のものは殆んど全體の飲まぬことになる。さうなると米國は經濟の方からも、智力の方からも、人種の上から考へても、大變な結果を示し、偉大なる進歩を來しはしないかと思ふ。少くとも二十年位待たなければ分らぬが、その代り效果の擧つて來た時には驚くべき成績を示すであらう。

今日でも婦人の間には輿論は一定してゐる、陰でこそ〳〵飲んでゐても、中には有毒なものを飲んでゐやうとも、婦人全體は飽迄禁酒主義で押通す、決して反對論に驚かないのである。つまり今のは酒飲み黨の泣聲に過ぎぬ。之は米國もその國の名譽にかけて撤廢することはないであらう。而して二十年後には必ず効果が現はれるに違ひがないから、日本なども出來るならよき禁酒方法を今から考へて實行する様にしたい

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

新日本の躍進時代

廓濟會理事　高島米峰

△□□（一）□□▽

日本の皇太子として海外に御出かけになつたといふことは全く空前の壯擧であつて、滿半歳に亙つての大旅行を了へさせられて、お歸りになつたといふことは、最も喜ばなければならぬことである。

御出立の當時に於ては、或は不逞鮮人の暴擧とか猶太人の陰謀とか、種々なることに杞憂を抱いて、一部國民の間には御渡歐御延期を祈つた者もあつたのであるが、其れ等は全く杞憂に屬して、無事に御歸りになつたことは、元より當然の事ではあるが、此の御歸りになつたのを歡迎することは、眞に擧國一致であつて、御渡歐御延期を願つた人々も、然らざる者も、悉く聲を揃へて萬歲を叫んだ譯である。

△□□（二）□□▽

皇太子殿下此の度の御外遊の御目的は、歐羅巴に於ける總ての方面の御見學と、聯盟諸國との親交とであつたと拜察する事が出來るのである、开うして、殿下聰明濶達にましく〳〵て、日嗣の命としての尊貴と英邁とを世界に御示しになつた結果、啻に國際關係の親善を増したばかりでなく、更らに一般と國威を宣揚し給ふことが出來たことが、殿下多德の然らしむる處であることは言ふまでも無い事ではあるが、國民としては尤も誇らしい感に堪へないのである。

开して御歸朝の後、殿下御自身の御生活の上に幾多の新らしい方面が開拓せられるばかりでなく政治の上にも風俗の上にも、其の他各方面に種々なる好影響を與へ給ふこと、想像するに餘りあるのである。

元來、廣く智識を世界に求めるといふことは、明治大帝五箇條の御誓文の中にも御示しになつて居ることであつて、爾來六十年、多く智識を世界に求めて來たのである。然るに有史以來未曾有と稱せられた處の、歐洲戰爭後の世界の形勢、或は思想界に或は國民的自覺に全然面目を一新したと稱せられても居るし、亦、日本としても、啻に世界の日本と成つた計でなく、五大强國の一つとして世界の平和と文化との爲めに發言の權利を得る事になつたのであるから、此の際、對外的にも自衛的にも、世界の現狀を知悉する事が最も急務でなければならぬ。

殊に人類平等の大義を振り翳して、全世界の爲め全人類の

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ために寄與し、貢献しやうとするには、國民全般が世界を知る事を要する事は言ふまでもなく、特に政治の衝に當る者、更に出來得べくんば國家の主權者となるべき人が、親しく此れを知り給ふといふことが、尤も重要なことてあると考へる。そして、將來日本に君臨し給ふ處の我が皇太子殿下が、親しく戰後の世界を見學し給ふたといふことが、此の際最も意義あることと申さなければならない。

△□□（三）□□▽

日本の國家が、國家として大躍進した場合には、何時も偉大なる皇太子が攝政として活動して居られるのである。此れを國史の上に見るのに、日本が國家として大躍進を試みたと稱すべきは、卽ち推古天皇の時代と、大化の改新の時代と、明治維新の時代と、斯ういふことが能きると思ふ。

推古天皇の時代には、聖德太子といふ方が皇太子に御立ちになり、同時に攝政として、內治に外交に偉大なる事業を完成して、一躍大日本たらしめられたのてある。聖德太子以前の日本の狀態は、國の文化が極めて幼稚てあり、國民の生活が極めて低級てあつたばかりてなく、種族制度封建制度の弊が其の極に達して居つて、門閥家柄によつて官職が壟斷せられ國司、國造といふやうな地方の豪族に依つて、當然天皇に直屬すべき筈の土地と國民とが、此等地方豪族の私するところとなり、皇室中心、天皇親政といふ樣なことも、一般國民には甚だ徹底して居らない樣な狀態てあつた。

甚だしきに至つては大臣あるを知つて、天皇の尊きを知らずと警する者のあつた位、天皇の稜威といふものが國內にゆき渡つて居なかつたのてある。斯かる時代に、聖德太子は御歲二十歲にして推古天皇の攝政とお成りになつて、政治の方面に於ては十七憲法を制定せられ、官位十二階を御定めになり、依つて以つて門閥を打破して人材登用の途を開き、封建制度を覆へして天皇親政の意義を徹底せしめんと企て給ひ、學問、宗敎、藝術、產業、百般に亘つて自ら親しくこれを研究せられたばかりてなく、これを保護し奬勵して、以て彼の燦然たる推古時代の文化を建設せられたのてある。

殊に外交の方面に於ては、當時日本の世界的地位といふものは殆んど在るか無しかの狀態であつて、支那の如きは、日本を目してその屬國であるとさへ考へて居た位、日本と云ふものを輕く小さく弱く認めて居たのてある。然るに、聖德太子は小野妹子を遣隋使として二回まて支那に送られ、隋の煬帝に對して互格の國交を結ばれ、一躍して日本が世界の强大國としての地步を占める事になつたのてあるが、當時に於て斯くの如き世界的地步を占めるといふことは、今日日本が五大强國の一つとなつたといふ事よりも、遙かに重大な意義を含んだものと謂はなければならぬ。

而して、聖德太子は智識を廣く世界に需めると云ふ事のために、多くの留學生を支那に送られて、直接に間接に外國の文明を輸入せられたのてある。卽ち小さな日本、低級な日本幼稚な日本てあつた當時の日本が、太子攝政以來僅かに三十年を出てない間に、國の文化の上から言つても、國の制度の上から言つても、國の世界的地位から言つても、全然面目を

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

一新した所の大なる日本となり、進歩した日本となり、優勝なる日本となつたのであるが、此れ正しく聖德太子の御力と申さなければならない。

△□□（四）□□▽

降つて、孝德天皇大化の改新は、是れ亦日本の國史上一大時期を劃するものであつて、國家の一大躍進をした時と言つて差し支へはない。そしてこの大化の改新は、孝德天皇の皇太子中大兄皇子の御力によるものだと申しても差し支へはない。この中大兄皇子も、亦、聖德太子と同じく二十歳にして皇太子に御成りになつたのであるが、聖德太子の遺策を奉じて聖德太子の理想を遺憾なく實現せられた方である。卽ち門閥打破、人材登用は言ふまでもなく、封建制度を覆して郡縣の制を定め、中央集權の制の實を擧ぐる等、聖德太子御一代に充分に實現し給ふことの出來なかつた點を實現せられたのである。

又、對外的には御母君に在しました齊明天皇を奉じて、九州まで御出陣になり、唐を御親征遊ばす事になつた。その戰は好結果を齎す事は出來なかつたけれども、當時日本に對しては先進國でもあり、日本の新文明の本國でもあるところの唐に對して、一歩も讓らないで敢然として國を擧げて、國光を耀かそうとし給ふた處のその自信と勇氣とは、聖德太子の隋の煬帝に對して對等の國交を結ばれたところの自信と勇氣に比すべきものと言はねばならぬ。卽ち大化の改新といふやうな國家的大躍進の殊勳者は、當時の皇太子の中大兄皇子であつたと云ふことは、最も注意をしなければならぬ事である。

△□□（五）□□▽

降つて明治の維新であるが、之れは大政復古といふことに最も重大な意義を有つところの大改造であつて、此の時も矢張り人材登用、門閥打破、封建制度の撤廢、中央集權、外國文明の輸入、條約締結等聖德太子のなされた事業と、殆ど同じ項目が成し遂げられた譯である。然るに、孝明天皇が慶應三年に崩御に成つた爲めに、明治天皇は御年十六歳にして帝位に御卽ぎにならなければならない樣になつた。若し孝明天皇が猶ほ御長命で在したならば、明治天皇は卽ち推古天皇に於ける聖德太子の如く、孝德天皇に於ける中大兄皇子の如く孝明天皇の皇太子として、維新の大業に參加し給ふ順序であつたのである。

然るに御年十六歳にして御卽位になつた爲め、卽ち天皇と皇太子との御二人分の御働きを御一人で成し遂げ給ふたといふ事になるのである。推古天皇の御代を去ること二十餘年にして大化の改新が行はれた事から考へて見て、明治の維新を去る事六十年に垂んとする今日に於て、更に大正の維新と云ふやうな事が成就されなければならない樣な氣運にあるといふことは、必ずしも僕の一家言ではない。そして若し大正の維新といふ事が行はれなければならないとするならば、第二の聖德太子、第二の中大兄皇子、第二の明治天皇とも稱し奉るべき偉大なる皇太子を仰がなければならぬ事となるべきであると考へる。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

▽□□（六）□□▽

然るに今親愛なる皇太子殿下は、その聰明と仁慈とが古への皇太子に比し、遙かに優れさせ給ふのみならず、古への皇太子が企て給ふ事の出來なかつた海外の御見學と云ふ様なことも行はせられ、古への皇太子が間接に廣く智識を世界に求められたに對して、直接に智識を世界に御需めになつたといふことは、推古の文明、大化の改新、明治の維新にも優つた國家的大躍進の基礎工事を完成し給ふた事と申しても差し支へはない。

殊に海外に於ての御生活狀態は、新聞の報道に依り、活動寫眞のフヰルムにより、全く從來の超人間的、若くは現人神的御生活とは、殆ど雲泥の相違のある人間的な、親愛に滿ちた御生活であつて、路傍に送迎する者も無い兒童等に對してまで、親しく御會釋を給るといふ様な具合で、從來吾々國民が求めて〱而かも殆ど空望に近いと思はれた、その人間的な親愛が、遺憾なく發揮せられたと云ふ事を拜見して、吾々國民と、皇室との今後の親愛の深さと强さと廣さとが思ひやられて、一種言ふべからざる感激の情に堪へないのである。恐らく皇太子殿下も、從來の御生活に比して、今後の御生活がより自由であり、より意義あるものであるといふことを御感じになつた事であらうと拜察するのである。

斯くの如き御生活振りを中心として、宮中にも府中にも、すべて新時代に適應する處の幾多の革新が行はれるだらうと期待する丈けでも、吾々の愉快は極めて大きいものである。

また、殿下御着英の當時は、炭礦夫八十萬の大々的ストライキの行はれて居た際であつて、英國皇帝の皇太子歡迎の辭の中にも『我國の最も重要なる工業が、峻烈なる爭議に依つて荒廢しつゝあるを見給ふべし』の一齣のあつたが如く、殿下には直接に間接に、此の大ストライキ實況を御諒解になつた事ではあらうし、英國の政治家の此の勞働爭議に對する態度や、所謂勞働問題の意義といふことに就いても、充分にお考へにもなつた事と拜察する。此れ等が、日本將來の勞働問題研究の上に、幾何の光明となりて顯はれ來るかは蓋し思ひ半ばに過ぎる事であらう。

日本の將來は、或は太平洋問題といひ、或は極東問題といひ、或は軍備の縮小といひ、或は人種的偏見の問題といひ、多くの問題に依つて、可成り惱まされなければならない狀態に置かれて居る。從つて此れ等の難關を巧みに切り拔ける事は、依つて日本の世界的大躍進は期して望み得られるのである。

かゝる時代に、此の聰明にして仁慈なる皇太子殿下を吾等の皇太子として仰ぎ奉るといふことは、國家の幸慶、國民の幸福と言はなければならないと信ずる。

矢島楫子女史の渡米

前婦人矯風會頭矢島楫子女史は今次の太平洋會議に對して、日本婦人も平和を熱望するものである事を告げんが爲め、九十歲の高齡を以て守屋東女史を隨へ九月三十日渡米の途に立たれた、切に一路の平安を祈る。

賣笑婦と都市の影響（補逸）

橫濱市社會課　木藤冷劍

□花柳病患者の職業と年齢の關係

◎花柳病は如何なる業者に多きか

予は賣笑婦と都市の影響に就て花柳病患者に關する情況を調査せんとして橫濱市にある重なる下級民を主とする、實費診療所。平民病院。赤十字派出所。救護所。十全病院。濟生會病院。同診察分院。外科の大家として屈指の大病院難波病院等に就いて情況を調査せし所何れも十分なる滿足を得るだけの材料なく、僅外科何名、內科何名、といふ風にとどまり、又は生殖器病何人といふ情態にて年齢職業等を知る事は容易でなく絶對不可能の所もあり殊に傳染せる系統等の判明せば非常に有益なる參考資料となると思ひしが全然此種の調査は不可能であつた。或は官僚主義に流れ蜜閉主義で更に何等の材料も得られない所もあつた。予は今回の調査に就て非常に有益なる經驗を嘗めた何れも御多忙中なるにも拘らず態々山と積まれたる書類の中から調査して回答して頂き又は快よく面會して內容を物語られ參考書等迄寄贈せられたる方々のある事を思ひ滿腔の感謝の意を表する次第であると同時に、一切官僚式態度に出られて、十の內八つ程纏まつて跡の二つの纏らない爲めに折角の好統計も寧ろ屑籠に葬らなければならない時もあつた。

花柳病に關しては前述の次第にて詳細判明するは困難なるも茲に梅毒、淋病、下疳の三種が判明して患者の職業及男

自大正八年十一月一日至大正九年十月卅一日　職業別病類統計表　「實費診療所」拔萃

職業別＼病類	梅毒	淋病	軟性下疳	外三十七病合計數
官公吏	一〇〇	一六八	二〇五	五、二六五
銀行會社員	三〇六	五一七	三三三	一一、四三四
學生	一四七	二一八	一一九	一五、四四二
商人	八九七	一、五九四	七三一	四六、六三〇
職工	一、〇五九	一、三八三	九八一	四三、三八五
勞働者	四二七	五九六	二四三	一〇、四八五
事務員	一二〇	二二七	一〇五	三、五七四
雇人	三五五	五八三	二八三	一三、四六四
技術者	四八	七三	三九	一、三九八
自由業者	三三	三三	一一	一、〇三三
農業	五三	三八	四一	二、六五八
無職	三八一	四七四	二九三	一〇、三九六
船員	一三六	一九七	一四三	三、二一一
藝人	二五	三四	六	六三三
軍人	四	四	六	七五
雜業	一〇	二五	一三	八三
外國人	〇	四	〇	八〇
合計	四、〇九〇	六、一六八	三、四三八	一七八、九五四

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

女別、年齢別の判明せるものあり之は實費診療所の統計になるもので比較的中流以下の少額收入者の患者を扱へる所なるが其一斑は窺知する事が出來ると思ふ、表は前後二表に別れて居る、前表は職業別、病類別、後表は男女別、年齢別、病類別、統計になつて居る、何れも大正八年十一月より大正九年度最近調査より得たるものである。

全部の統計を示す事は非常なる誌面を要する故省略せしも二約肺結核、トラホーム、肛門病、皮膚病等約三十七病に別れ大居る其内花柳病のみを抜萃せしが前表である。學生にして百十八名の淋病、百四十七名の梅毒あり、無職者にして四百七十四名の淋病等は聊さか驚く次第である、次に後表を掲ぐ。

自大正八年十一月
至大正九年十月 **男女年齢別、病類別、統計表** 拔萃

病類	男女別	十五歳以下		廿五歳以下		五十歳以下		五十一歳以上		合計		男女總計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
梅毒		七八	四三	一、七〇九	三〇三	一、四四六	二七九	一四七	八七	三、三八〇	七二〇	四、一〇〇
淋病		一一八	五〇	二、六四〇	三八九	二、二三六	三六八	二三九	一〇八	五、二四三	九一五	六、一五八
軟性下疳		一〇六	二四	一、七五四	一六五	一、一六〇	一三四	七九	一六	三、〇九九	三三九	三、四三八
三十七病合計	男女計	三三、五三八		六六、九四三		六四、四九七		一三、九七七				一七八、九五四

此表によると十五才以下の來診患者は三十七病合して三萬三千五百五十八人來り其内花柳病患者は四百十九名ある。十五才以下にして淋病百十八人軟性下疳百〇六名等は誠に沙汰の限りである、第七號に掲載せられたる拙稿の内不良少年と性的關係と比較して見れば蓋し思ひ半ばに過るであらう。

□娼妓の教育情態

予は從來の誌上に賣笑婦と都市の影響に就て都市より種々なる統計、實例、等を擧げて發表し諸氏の御參考に供せしが出來得べけんば更らに娼妓の登錄以前の生活情態及教育の程度を調べんと百方苦心の結果北海道廳警察部より頗る詳細に調べたる而も大正十年四月末日現在の道廳に於ける醜業婦人や教育統計を得たるを以て追補せんと思ふ。

尚陸軍省醫務局より壯丁檢査の結果花柳病の調査に就て頗る有益なる風教問題材料を受けたる外全國各府縣の郡別調査になる娼妓藝妓等の調査をなしつゝあり。順次號を追うて連載して見度いと思ふ。

娼妓、藝妓、酌婦・教育別、年齢別調

大正十年四月末現在 北海道廳警察部調査

教育程度	娼妓					藝妓					酌婦				
	廿歳未滿	卅歳未滿	四十歳未滿	四十歳以上	計	廿歳未滿	卅歳未滿	四十歳未滿	四十歳以上	計	廿歳未滿	卅歳未滿	四十歳未滿	四十歳以上	計
尋常小學校中途退學	六五	一三九	三九	一〇	二五三	七二六	六六四	一〇四	四四	一五三八	五〇二	八八五	七五	三	一四六五

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

同卒業	高等科中途退學	高等小學校卒業	中等教育ヲ受ケタルモノ	學校ノ教育ヲ受ケザルモノ（有筆）	學校ノ教育ヲ受ケザルモノ（無筆）	計
一七	一二	一五	一	一六	一五	一二〇
四九二	一五九	六九	二五	三三〇	三六	二、四五九
三	一三	一三	〇	八	一五	二八
〇	〇	〇	〇	〇	一	一
三二九	一八二	七七	二六	二三四	二三七	二、六八八
三五〇	一二五	四八	〇	三三	一四	一四七六
四四一	一四三	三〇	二〇	一九	一七	一、三五三
三三	三〇	一三	〇	一三	八	三八
三〇	五	一	二	八	一	九一
一〇六三	二九二	九三	三	八二	四〇	五、三三八
二〇三	四九	二四	二	四七	四五	八六八
三九三	一七五	七九	九	一三	一四〇	一八二三
四六	一一	二	〇	三三	三	一八七
一	〇	〇	〇	五	四	一三
六四二	三五五	一〇五	一一	三六	二〇八	二、八八〇

右の表は本年四月末日現在の北海道内に於ける全部の公娼私娼八千六百九十六名より得たる教育調査及年齢別である。

夫に先立ち先づ北海道の風教問題に就て大正九年度陸軍省醫務局の統計の示す所によれば同年度道廳に於ける壯丁檢査人員は二萬三千五百二十八名に達しトラホーム四千八百十三名花柳病五百七十六名あり檢査人員千人に對し二十四人六厘となる、之を細別すれば梅毒百二名横痃百六名淋疾三百五十八名あり之を近縣に比較すると左の如くである。檢査人員千名に對し（何れも陸軍省の統計による）

青森	一〇、九五	山形	一一、〇三
岩手	一五、〇〇	宮城	一六、〇三
秋田	三〇、一二	福島	二一、七八

奥羽地方に於ては秋田縣の三十人一分二厘が最多にして次が道廳であつた。北海道には表面に現れたる醜業婦としては藝妓三千百二十八名を筆頭とし酌婦二千八百八十八名次が娼妓二千六百八十八名あり之が人員及年齢別を見る時は三十歳未滿の娼妓最多を占め實に二千四百五十九名を算し次が三十歳未滿の藝妓にして千四百七十六名あり之を見ると三十歳未滿二十歳以上にして醜業婦となるものの最も多き事と思ふ。之が教育普及別を見るに尋常小學校途中退學者にして三十歳未滿のもの千三百七十九名に達し實に全娼妓數の半數を占めて居る中等教育を受けし者二十五名は意外であつたが殊に甚しいのは更に教育を受けし事なき無筆の娼妓にして四十歳以上といふのがあつた之等は寧ろ滑稽のやうに感ぜられた。藝妓、酌婦、娼妓等何れも尋常小學校中途退學者多く無教育者は娼妓に多く娼妓の無教育者は全人數の二割であつた。藝者の無教育者は三千百二十八名に對して、内百二十一名に過ぎない。酌婦の無教育者は全人員の一割强にあたる。

拜啓、先便御示教有之候白奴賣買問題に關し取調候處國際聯盟事務局よりは通牒有之候へども、我帝國政府よりは未だ何とも返事を發せざる由にて候。

本日官報にて發表せられ候如く、國際聯盟總會第二回會議に出席致候事と相成候隨員中、宮島幹之助氏と山岡國利氏（前兵庫縣警察部長）は主として此問題（卽婦人兒童の賣買問題を稱す）に當るものに有之候。

白奴賣買禁止協約に日本が加入すべきや、否やは、內務省の警保局と社會局との意見一致せず、爲に今尙在滸回答なきものにあらずやと察せらるべき理由あり。政府の答案が決定致し候はゞ、論評を加へ申してもよろしく候。右の次第に付き不取敢御返事申上候。（八月廿四日）油谷生

機來れり、全國の處女よ起て

婦人矯風會總幹事　久布白落實

□桂庵の陷穽がその第一步

先年横濱に一軒の古着屋がありました、其處に十六歳になる千代野と云ふ娘がありました、母は寡婦て千代野とも一人男の子を一生懸命に育て丶居ました、然し何を申しても女の細腕て、二人の子供を長く學校に遣つて置く事も出來ませんので、千代野を近所の人の口入れで奉公に出しました、其時母は返す〴〵もどんな事があつても、此娘を客座敷へ出したり、又身を汚すやうな事はさせて呉れぬやうにと口入れの人に折入つて賴みました、口入れの人は快く承知し、仕度料にと金四十圓を渡さうとしました、母は拒んで私は此娘を賣るのてはないと再三申しましたが、口入れは、てもあんまり見すぼらしい風體ては困ると云つて强ひて、其金を置いてゆきました。

□三ケ月の間に六ケ所に

處が千代野が行つて見ると、それは橫濱から大分離れた、茨城縣の田舍町の料理屋てした、そして着いた其時から直ぐと枕席に侍らせられました、非常に驚いた千代野は、直ぐ逃げ歸り度いと思ひました、然し土地不案內の上に監視が嚴しいので、どうする事も出來ません、やつとの事て停車場へたどり附いたと思ふ時、主人に見付けられ散々打擲された上連れ返られました、それから主人は、此の娘は危いと見て、直ぐ次に賣る考へをしました、そして可憐な娘は貞操を守る爲めに抱主に憎まれ、次から次へと賣られて僅か三ケ月の間に、六ケ所まて場所を變へると云ふ仕末てした。

□無理强ひに醜業婦へ

その間千代野は、唯一日も忘れ得ぬ母の下へ泣いても足らぬ手紙を幾通となく送りました、母は驚き狂氣の如くなつて千代野の日曜學校敎師なる或る宣敎師に縋つて其救ひを求めました、宣敎師はこれを慈愛館に告げ、慈愛館と矯風會は共に立つて此れが救濟に盡力しました、然し其間に千代野は三回目の家で明け暮れ責めさいなまれて遂に抵抗の氣力も勞れ果て丶、あはれ其身を醜業に落すに至りました。

□法律の保護なき處女

一人の處女が身の純潔を心から希ふにも拘はらず、斯樣な破目に陷つて來た事を見た時に、私共は實に耐へられぬ感じ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

が致しました、そして、全國に百となく千となく、斯様な狀態にある娘等を、どうしたなら救ひ出せるかと苦慮した結果今後若し斯ういふ風に、我心にそまぬ無理非道な事で醜業に陷れらるる娘は、國法が保護して其純潔を保たせて呉れるのは當然てはあるまいかと考へ、私共は日本人三名、西洋人三名都合六名の委員を設け、五年に渡つて、之れを法廷に訴へました、即ち處女を汚すもの又、强ひて之れを醜業に陷るゝものは罰せらるゝと云ふ事を證明して貰ふ爲めてす、然るに法廷ては、地方裁判所から控訴院、それから日本の最高の法廷なる大審院まで持つて行きましたが、遂ひに取上げになりません、其理由は、罪狀輕微にして取上ぐるに足らずと云ふのです。

□處女の純潔は斯くも無價値か

私共日本婦人は、數千年の昔から、貞操と云ふ事は敎へられて居ます、苟も武士の娘に不義いたづらがあれば、手打にしても差支へぬと云ふは武家の作法、又他人から力づくで不義を强ひらるゝ時は短刀を以つて身を守ると云ふが、正しき娘の行爲でした。貞操は、女子に取つて生命にも換へ難いものとは、昔から堅く敎へられた處てす。然るに明治大正となり、黃金の光りが神の光よりも輝き、金錢の爲めには男の意志も女の操も悉く賣物にすると云ふ淺間しい風が一般に漲つて來たのと、其れに加へて、今日の時代は自分で自分を守らなければならぬ時代になつて居るのに相變らず私共婦人自身がぼんやりとして何一つ考へない無自覺な狀態に在るのとて、處女の純潔と云ふ、人間世界で、眞珠よりも貴くある可きものが汚されても、何人も其れを不思議とも、惜しいとも考へなくなつたやうてす。實際法律は處女の純潔を守る爲めに何等の力を貸しません、十圓の金の窃盜よりも處女の價値は安いことになります、この千代野の如きは僅々五十錢を得る爲めに醜業を强ひられて居ます。

□國際聯盟と處女の保護

國際聯盟は、未成品で今尙世界の試驗中の事です。然し萬國が一つになつて仕事をすると云ふ事は、これは、二十世紀の大勢てあつて、たとひ何人が出ても此の勢を防ぎ止むる事は出來ません、婦人賣買は世界の大問題の一つて、已に千九百四年に一回、千九百十年に一回都合二回佛國巴里に集つて集會を開き、英獨米佛の諸外國は種々打合せを爲しました、ついてこの大戰後三度會合を開き協定を爲すことに決し、我國に對しても其條約に加盟することを勸誘して參りました。

其條約文は左の通りです。

一、何人に拘らず、他人の情慾を滿足せしむる意志にて未成年の婦人を傭入れ、誘引若しくは誘惑したるものは假令本人の承諾あるも處罰せらるべし、又、犯罪構成の要素たる各種の行爲が他國に於て遂行せられたる場合と雖も處罰せらるべし。

未成年者とは、滿二十一歲に足らざる者を云ふ。

私は我が國の六法全書の何の部分を探して見ても、此れ程明瞭な、又徹底した、處女の純潔を保護する法律を見出す事

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

が出來ませぬ。萬國が一つになつて、此の條文を法律として協定しやうと云ふのは何と云ふ喜ばしい事てせう、特に我國は五大國の一てす、それて尚ほ他の諸國は我が國にこの條約に加盟して欲しいと申出て居ります。

□全國百萬の處女の聲を擧げよ

此の勸誘を受けて我國の政府は今や思案最中てす、然し私共全國の處女は、國家の第二の妻、第二の母たる可きものてす第二の國民の優劣は一にかかつて全國百萬の處女の肩上に在るてはありませんか、この處女が、其生命と云ふべき、純潔を保つ爲めに、政府が何等の保護を與へないと云ふ道理はありますまい、今日のやうに僅か四十圓か五十圓、時には二百圓三百圓の金の爲めに、何時ても處女が其心にもない醜業を强ひられ淚を呑んて其純潔を賣物にせねばならぬと云ふ事は決して國家の將來から云つても祝す可き事てはありませぬ、私共は、國家の中心に、この處女の純潔を護る法律が儼然として確立せられん爲めに、私共各自の聲を擧ぐるのは當然てはありますまいか。

□機會に來れり

私はかの可憐なる千代野の事件の爲めに、五ケ年を費し、そして最後に、罪狀輕微にして取上ぐるに足らずと云ふ事になつた時からこの方、我國百萬の處女を護る法律の明文が我國に缺けて居ると云ふ事に始めて氣附きました、そして昨年の議會の時、辯護士西村勸之助氏に御依賴して、處女保護に關する新法律を草案して頂き之れを提出する考へてした、然し其運びに至らぬ内に議會は閉會となりましたから、今年こそとそれ〱下準備をして居りました、然るに幸ひにも此度國際會議に於て、特に此問題が議せられ、然かも其條文は前述の通りの簡明て徹底したものてすから、私は自身用意した凡べてを抛つて、この國際會議の條文其儘を我國の法律に採用せられん事を政府に懇願し度いと思ひます。

□輿論を以て政府を助けよ

千九百十九年、米國が全國の禁酒法案を決議した時矯風會々頭ゴルドン女史は、一通の手紙を時の大統領ウイルソン氏に送つて申しまして、私共は下に記名しある國內數百萬の人員を含む諸團體を代表して申します「今日禁酒法案を米國內に實施する事は決して國民の輿論に反對するものてない事を謹んて申し上ます」と、私共は全國擧つて隅々限々まて聲を合せ、此法案を我國の法律とせられんことを、我が賢明なる當局者に願ひ度いと思ひます。

婦女幼兒賣買禁止可決

國際聯盟總會は婦女及幼兒賣買禁止委員の提案を大多數を以て可決した右提案は新協約の正文を含んて居る該案提出をするに際し南阿委員ギルバート、マレー教授は曰く婦女及幼兒賣買禁止協約に從來數箇國が調印しなかつたが今回新協約に調印し以つて非常なる罪惡的行爲に對し致命傷を與ふべし。

祖國に歸りて

牧師　額賀鹿之助

メリツト湖畔の自然美は東海散史柴四朗氏をして彼の名著「佳人の奇遇」を記せしめしと傳へられるが、實に美しく高雅であつて、自ら美しい歌となり高雅なる詩となるのである。然れどもそれは外面である。

□重んずべきは未來よりも現實

現實の世界は見ゆるものであつて、吾々の信仰の世界は見えざるものである。吾々は見ゆる現實の世界に生活して、見えざる神の國を望み又之れを實現せんがために努力するのである。中世紀の基督教は現實は卑みて、亡ぶるもの、汚れたるもの、罪惡に充ちたるものとなし、此現實を超越して他の世界に行かなければならぬと力說したのである。抑現實の世界はそれ程厭ふべきものであるか、現實を超越せる未來の夢を見るべきであるかは、現代に於て不確實になつたのである。實に未來は夢であり不確かである。吾等は今少し現實を研究し、今少し人間を考究せなければならぬ。

此世は勿論不完全であつて、殘酷なる戰爭があり、又は家庭の爭があり、其の他種々なる罪惡が行はれる、誠に厭ふべしである。併し此現實を棄てゝはならぬ。米國の如き遠くより之を眺むると、誠に立派に見ゆる。それ故に若し彼の國へ行くならば、如何に美しい立派の世界であるかと想像するに違ひない。又實際行つて見るならば紐育は東京に比して立派であり、華盛頓は京都に比して奧床しい。又オークランドの

□米國人の人種的僻見

數年前帝國大學を卒業して官吏となつた人が、米國の神學校に入るべく知人の添書を持參して私の處へ來た。彼れは此懷しき米國に來りたる事を大いに喜び、天國に來りたるが如く感じたのである。曾て海老名先生より、米國人は眞に宗教的であると云ふ話を聞いて居つたので、斯く思ひ込んだ。然るに暫らく經つ内に漸次樣子が判明つて來て、色々の事實にぶつかつたのである。彼れは先づ或る家のスクール・ボーイとなり、その家の奧さんに何でもやるからやらせて呉れと申した。そこでその奧さんは無遠慮に多くの仕事を命じたので、實際遣つて見ると仕事が多過ぎるために、遂に厭になつて之が辭意を主人に申出でた。主人が云ふのに、米國では自分の都合で勝手に罷める場合は、給料を支拂はぬ慣習になつてゐるから、その積りで居れとのことで、一文も給與せぬの

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

である。彼れは此米人の家庭の冷酷なるを泌々と悲觀して、頭が變になり遂に氣が狂ふて死んだのである。

米國には何うしても人種的壓迫がある。曩には學童問題が起り、續いて土地問題が起り、又昨年州の一般投票によつて可決の上、實施さるゝことになつた東洋人土地法の如きは、實に日本人其の他東洋人に執りては大なる致命傷である。又米國の白人が同國内の黒人に對する處置の如きも、頗る殘酷である。黒人の數は却々多く、殊に南方が最も多いのである。然るに彼等は決して白人と平等の待遇を受けて居らぬ。詰り白人の有してゐる種々の特權を有せぬのである。そしてまかり間違へば石にて打たれたり、又は木に吊されて燒き殺さるるのである。昨年市俄古に此黒人に對する虐殺が行はれ、殘酷を極めたのである。又或る牧師は大戰中に「戰爭は人道に反する行爲であるから廢止すべきである。そして我が米國は自由平等でなければならぬ」と說敎した處が、聽衆は之を聽き大いに激昂して、その牧師を壇上より引き摺り卸し、追放したと云ふ事實もある。私は此米國に六年も住んで見ると一から十迄總て美しいと云ふ事は出來ぬ。勿論種々なる美點や特長はある。

□改善せざる日本と特長ある米國

私は今回米國から歸つて横濱に着かんとする際、あの萬古雪を含む富士の高根を望み見たる時、一種のインスピレーシヨンに打たれた。又我が生れし郷里は、見すぼらしい村であるけれども、一たび歸りて老父母に遇ひ、又竹馬の友と久濶を敍した時、又我が幼少の折散々遊び廻つた湖上に舟を浮べて見たる時、何とも言ひ知れぬ感慨を催ふしたのである。併し一面から考へて見るならば、その竹馬の友が何年經つても更に人格的に又知識的に進歩發展することなく、何物も持つて居らぬのである。そして一升徳利を携へて我が家を訪問し無理無體に飲酒を勸むるが如き、それに對して私が禁酒の理由を以て斷りたるに、折角の好意を無視すると云つて怒るが如き、實に淺間敷き狀態である。又其の話す所も、昔日の通り日本外史に在る酒を飲む豪傑の話であつて、日本の將來は如何になり行くか、又吾等は如何に努力すべきやとの事柄に少しも想到して居らぬのである。

又東京へ久々で歸つて見ても、格別能くなつて居らず却つて惡くなつた。そして種々なる醜穢の不正事件が頻出曝露した事を耳にするのである。又私が東京に着いて第一にインプレスせられたものは、品川御殿山へ行く細道を通ふる道すがら、多くの人が集つて居るので、私もそれを一寸覗いて、荷馬車の馬が仆れて居るのを見たことである。多分馬子の殘酷なる取扱ひと過多の重荷に耐へ兼ねて仆れた樣子である。そして翌日になつてから聞くと、その馬は八百圓もした馬であつたさうであるが、間もなく死んだので、誠に惜しい事であると云ふ話である。それから其日芝公園にも馬が仆れてゐるのを見た。兎に角馬其の他の動物に對し妄に虐待すると云ふ事は大いに改めねばならぬ。又米國には人間は勿論牛馬の飲む水が至る所に備へられて、之が愛護の途が行屆いて居る。東京では人間の飲むべき場所すら公園停車場に設けられてあ

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

る位で誠に少數であり、牛馬の飲むべき設備の如き、殆んど無いと云つて宜しい位である。又電車に乗つても、立派の服裝の人々が婦人小供を追ひ拔け、踏み付ける亂暴の振舞をなすのである。米國の電車では、非常に親切で殊に小供や老婦人を丁寧に助け勞はるのである。又日本の貧民は虐げられてゐる。學生も困つて居る。財產がなければ人間の扱を受けて居らぬ。又東京の町の中央に山林があつて、富豪の一大庭園を形作つて居る、之に反して米國の都市には、斯の如き山林を見ることが出來ぬ。そして東京市の隣接地には小さき燐寸函の様な家がうよ／＼と出來るのみならず東京市には下水の設備なく、又市の隣接地には水道がないのである。紐育の貧民窟ですらそれ等の設備が立派に出來てゐる。夫の設備なき發展は無益である。觀じ來れば吾々は信仰の世界たる神の國を望まなければならぬ。或る者は此世を呪ふて默示錄にある様のことを夢想する信者が多い。それは宜しい。併し進んで積極的に現實の世界の向上發展を圖らねばならぬ。

□現實に於ける神の國と其の正義

如何なる罪人でも神の素質があり、神の心を宿してゐる。それ故に聖書に「若し爾曹芥種の如き信あらば、此山に此處より彼處に移れと命とも必ず移らん」とある。又「天國は芥種の如し。人これを取て畑に播けば萬の種よりは小さけれども、長じては他の草より大にして、天空の鳥來りて其枝に宿るほどの樹となる也」ともある。又「天國は麪酵の如し、婦これをとり三斗の粉の中に藏せば、悉く膨發するなり」とあるのである。そして「神の國は爾曹の内にあり」とあつて、必ずしも未來にのみ求むべきでない。併し乍ら現實の世界に於て劍や鐵砲を以て勢力を張る所に神の國はなく、眞心を盡して眞の愛の努力を捧ぐる所の奉仕者…は神の國がある。米國の大統領が地方を巡回する時、同國の民衆は五、六階の高き所に登り、或は電柱に攀ぢ登つて非常なる熱誠を以て歡迎するを常とする。然るに一たび大統領を罷めるならば、彼れは直ちにオフィスに入つて辯護士となり、或は大學の敎授となり熱心誠意に其の職務を盡すのである。此平民的にして常に能く働く所の精神が、社會に家庭に國際的に徹底せねばならぬ。元老も軍人も水呑百姓も、工場の勞働者も炭礦の暗きにある坑夫も、皆奮勵努力して國家社會に奉仕すべきである。

昨年ボストンのインターナショナルカウンシルのありたるプレマスと云ふ所に米國の信仰の父たる淸敎徒の三百年記念祭があつて、私もそれに參加したのであるが、實に一種の感慨に打たれたのである。最初此淸敎徒が英國を出發の際、ロビンソン牧師は訣別の辭として奬勵して申すのに、「吾曹は此世に再び遇はれぬやも知れぬ。然し見えざる神は何處に在つても、必ずや諸君を適當に導き給ふことを確信する」と。彼等が數十日の風浪を冒して漸やく目的地に到着した後に於ても、第一に住むべき家を建てればならぬ。そして土人の襲擊に備へなければならぬので、實に種々なる苦心と困難があつて、沁々とモーゼの事を想ひ出したに相違ない。又彼等の内の死者の墓所の地上に麥を播いて、土人の目に留らぬ様に周到なる注意をしたとのことである。

現代に於ける吾々は日本に於て何を爲し何を與ふべきか、そは昔から今日迄傳へられて居る小供らしき柔順にして純粹なる信仰に由つて立つにある。さらば何等恐る可きものがないのである。そして此日本國民生活の上に少數の亡びざる信仰の泉と、生命の力に依つて貢獻し、至誠を以て我國のために熱誠努力し、大いに不正不義と戰はねばならぬ。さらば神の祝福の聲が聞ゆるのであつて、眞の意義ある生活を遂げ、現實の世界に神の國とその正義しきを持ち來らすことが出來ると信ずる。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

善を爲すこと最も樂し

救世軍大佐　山室軍平

（一）何を以て樂となす

昔東平王蒼といふ人に、其の家に居る時何を以て樂とするかを尋ねる人があると、答へて「善を爲すこと最も樂し」といふたさうである。眞に面白い言である。

（二）臨終を悲慘にす

ガリックといふ人が其の立派な邸宅へジヨンソン博士を招いて御馳走した上、裝飾した部屋や、廣い庭園や、美術品、骨董品等を示して、それに對する博士の感想を尋ねると、彼は言ふた「こんな物が澤山あるほど未練が殘つて、臨終を悲慘にするてあらう」と。

（三）金庫の鍵を握りて

或宗教家が大病人を病床に訪ひ、種種慰めたる後、手を握つて共に神に祈らうと求めたが、病人は手を引込めて應じなかつた。彼が死んで後しらべて見たら、其の右の手に金庫の鍵を固く握りしめて死んで居つたさうである。財産を神からの預物として之を用ゐて、社會公共に盡すことを辨へない人は、往々にして此んな悲慘な最後を遂ぐるものである。

（四）獵犬一頭の費用

「君は宗教や社會的事業に、隨分澤山の金を出さるゝ樣だが」と、一人の紳士が其の知合なる基督の紳士に話しかけると、彼は答へて「私が毎年宗教や社會的事業に投ずる金高は、君が獵犬一頭に費さるゝ金高の半分にも足りますまい」といふた。自分一個の娯樂や道樂に費す金は如何に多くして、神の爲、又人の爲に獻ぐる金は如何に少いか。誰も反省せねばならぬことである。

（五）一番大事な寶物

迫害する者がラウレンス長老に迫りて其處の敎會に屬する一番大事な寶物を皆差出せと要求すると。ラウレンスは病人や、片輪者や、寡婦や、孤兒をぞろぞろと連れて來て、「これが我等の敎會にて、一番大事にして居る寶物であります」と言ふた。此の至小者に盡すは、耶穌に盡すのだと信じ、世の賴邊なき人々に盡すのは、基督敎の本色である。

（六）小い男の大な洋服

サムエル、セツトルといふ人は小男であつたが、洋服を作る時、いつでも寸法よりは一段大きく仕立てさせた。これは自分で着る時はダブ〳〵して變だが、好加減な時近所の貧乏人に、「着舊して失禮てすが」といふては與へるのに、態とらしくなくて好いからてあつた。

（七）我々の貧乏人まで

初代の基督者が貧民弱者に對する親切の狀を見て、迫害者なるジヨリアンは言ふた、「此のガリラヤ人は仲間の貧乏人ばかりてなく、我々の貧乏人迄世話をする」と。基督は「幸福なる哉、憐憫ある者、其の人は憐憫を得ん」と仰せられた。それ故何より大切なるは愛の奉仕である。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

自己教育

文學博士　三宅雄次郎

□學理の研究に忠實ならずして講義の筆記に熱中するの弊害□

一時自覺と云ふ言葉が流行つて、自覺せねばならぬとか、自覺が足らぬとか申した、今も云はぬではないが餘り流行らぬ。流行り廢りが早い樣であるが、若し學生が自覺したならば怎う云ふものであるか、學生何故に學校に居るか、學校に勉強するか、之を考ふるならば如何、尤も學校では色々あるが私は大學を重もに云ふ。そして大學中の大部分は法文科であつて、之を主にして話すのである。法文科の學生諸君は怎う云ふ心得で學校に出てお出てになるか、法文科色々あるであらうが、今でも教授の講義を筆記せらるゝだらう、何のために筆記せらるゝか筆記は何のためか、教授の知識を與へて呉れるので筆記せらるゝか、凡そ頭に入るべき知識は澤山あるのであつて、之を吸收するのにも種々の方法がある。兎に角教授は知識を與へて呉れる。それで之を筆記するのであるか、知識は過去現在將來に渉り廣きものである。僅かの時間で教授が知識そのものを與ふるものかと云はば、決して然らずである。

教授の授けたるものは、或る暗示を與へる、知識を啓發する、奥へ行くべき針路を指し示すだけである。教授の中には其邊に心得ある人もあるが、誰れが其の人であるか極めて少數であると思ふ。今申す如く學生が日々講義を聞くならば、その講義は知識の暗示や針路を與ふるのであるが、知識のためならば書物その他の印刷物で宜しい譯である。然るに講義する者は單に暗示と興味を與ふるのであるから、筆記すべきものであると云ふことになつて居る。何故に印刷にせぬものであるか、今の教授の遣り方は日本のみならず、世界全體の遣り方である、併し冷靜に教授が考ふるならば不思議でたまらぬ譯である。學生諸君如何に考ふるか日々筆記せねば進級又は卒業することが出來ぬ。又此筆記は高等文官試驗に及第するためてないか、然らずと云ふならば否?と云ふて下すつて宜しい。一體學校へ行くと云ふことは進級だけの目的であつて、頭を如何に養ふと云ふことは三段四段目でないか、教授に聞けば日本のみならず世界がさうである。不完全ながら巳むを得ぬと申すが、併しさうあるべきにあらずしてさうあるのは可笑い。

□學校以外の新聞雜誌及び著書より得らるべき大部分の知識□

中世より其の慣例になつて居るのは、印刷機械の進まぬ時代だからである。今の樣に新聞雜誌がない時代だからである之は巳むを得ぬ。然るに現代の如き印刷機械の發達せる時代であるに拘はらず、中世時代と同樣にする程、それ程時代錯誤があるであらうか、只今教授が教ふるのに如何なる事を教ふるか、一段高い所に居つてうまい事を言へば教ふるのであるが、私は今教へて居るのであるが、教

壇はもつと結構であると云ふか。どれだけ結構か、それよりも寧ろ圖書を讀む方が可いてはないか。順序は卒業、高等文官と云ふ譯で讀んで筆記するのである。又大學では知識のみならず人格の陶冶に努むると云ふが、教授は人格者なりや如何。近頃の風教問題は却々喧ましい。大官連が大罪惡を犯す。そして總ての官吏や教授連は正義や人道のために、當局に對し一言半句進言し又は問ひ詰める事があるか、ルーズヴエルトは大學の教授其の他の教育者を評して、臆病なる善人てあると申して居る。そして此臆病なる善人は社會に於て無益且つ最も賤しむべき部分を形作ると申して居る。今の學校職員は此臆病なる善人にあらざるか、思ふに、少なくとも半數以上はさうてあると云つて宜しい。

此教授が知識を與へ人格を陶冶して呉れるので、果して滿足し得るかは一大疑問である。又或る人は云ふ學校はさうてある。それ故に他に修養の道を取つて居ると。誠に結構の事てある。併し講義を筆記することは實に妙の事である。世には妙のことがいくらもある。便利ならばそれも宜しい。將來のために多少我慢せねばならぬ。どれだけの效能があるか、大學卒業後教授又は高等官になるには何年間か、三年五年十年の後局長ら事に行ける保證の出來る者は、誠に僅少である。教授でも將來どれだけ偉くなるか、自分の能力を延す、自分の人格を陶冶すると云ふことは外にすべきである。教場にどれだけの力を與ふるか、今知識の大部分を何れより得て居るか、講義錄か學校外てあるか、之を考へて見るならば、今は學校の分は誠に僅少であつて、新聞雜誌著書の分が大部分であることを知り得るのてある。

□═複雜なる新聞雜誌に對する═□
□═獨立的の判斷と知識の吸收═□

新聞は極めて粗末であると申すが、如何なるものが眞の價値あるか、千年前に歷史にあることを知ると、今深川本所にあることを知ると何れか尊きか、歷史は知る人少なく新聞は知る人が多いのである。それ故に大觀すれば軒輊なきが如きであるが、唯下らぬものと下るものとを區別して價値あるものを調ぶべきである。又日英同盟を研究することが歷史上の類例を知悉することよりも益が尠ないか一大問題てある。又昔は教育は僧侶教員の手のみに由つたのであるが、現代の如き印刷機械が進歩發達して以來、僧侶教員のみに依るの必要なく、寧ろ新聞雜誌及著書に依るべきである。少なくとも兩者大なる相違はないのである。今世の中に出て居る新聞雜誌が亂雜で知識を得られぬと云ふのは、判斷力がないからである世間に知識を弘めて居るのは新聞雜誌記者である。雖夫れ記者の顏は何れもお粗末であるので、或る人は矢張大學の教授が宜しいと云ふだらうが、それは誤れる時代錯誤の精神であつて、その點が昔と現代の違ふ所である。

昔は上下の區別は四書から習はねばならぬ。今は新聞雜誌や種々の著書に依つて學び判斷ずべきてある。記者が、も少し善くあるべきであるが、それは已むを得ぬ。兎に角その新聞雜誌に依つて自ら判斷すべきである。又記者は先生らしき顏を持たぬ。それは宜しい。毎日又は毎月材料を與ふるので、讀む者は夫れに依つて判斷すべきてある。勿論研究的著述者はあるてあらうが、それを拾ひ上げる

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

だけの餘裕はないのは已むを得ぬことである。彼の耳鼻咽喉科の博士岸一太君は、飛行機製作に從事して、失敗した。失敗はしたが其の志は大いに尊敬すべきである。同君は知識に於ては相當にある。耳鼻科醫者の傍ら此飛行機を研究するのに、大學三年のものを三ケ月で學ぶことが出來て、他の工學士が三舍を避けたとのことである。探鑛冶金の如きもそれのみならば三ケ月で學び得るが、他の諸學科あるために三年掛るのであると工科の人は云ふのである。三ケ月ならば大いに遣つて見るべきである。

□□憲法の獨立的研究態度と點數に拘泥せざる現代の機運□□

理工科がさうであるならば法文科は猶ほ更である。何を教ふるか。例令ば大日本帝國憲法の講義を聞くとして、若し各國と歷史を比較すれば面倒であるが、日本のみの分ならば容易に了解することが出來る。さう判明らぬならば憲法發布をするに及ばぬとも云ふことが出來る。義解其の他を讀むのは高等文官及第のためではないか。總て法待の解釋は法文の文面に依つて解釋すべきであつて、草案者の心を忖度する必要はないのである。記念館に竝んでゐる人や、草案者が果して責任者であるであらうか。既に欽定憲法であるならば草案者を列記するに及ばぬ。斯く列記することは所謂欽定を蔽ふことになるのである。かう云ふ事よりも自分は自分の力で何をなすべきであるか興味あるならば其の獨立的研究をなすべきである。一般に點數に重きを置き、銀行會社に於ても點數に依つて採用するが其の益は誠に僅かである。一年乃至五年位のものに過ぎぬ。それよりも不斷の研究をなし、獨立的進歩をなす人が尊い。帝大の肩書が妙な偉がらせる弊がある。そして又官僚的の處がある。帝大に居ると官吏顏になるので、途中に顏を替へることが出來ぬ、又私立大學は僻み根性を持つて居るが、之もいらぬことである。自分が自分で教育するのである。時に學校の規則に從ふと云ふ程度に於て、各自自ら教授し研究するのである。

大體學者が物る知ると云ふ頭を改造せねばならぬ。書物があるならば餘り頭に入れず餘裕を拵ふことを考へ、學者物知りは大概に已めねばならぬ。そして知らずして判斷すべき問題を判斷する。學者は物識りの樣であるが案外物識らぬことがある。例へば衆議院は如何なる所か、大概判明りさうであるが知らぬ者がある知識を教授より受け、人格陶冶を此人より受くると云ふことは餘り見當が合はぬ。今の所では、何程かの便利を得るために學校の規則に隨ふそして自ら教へ、自ら人格を高むることが現代の趨勢である。設備をするのは結構であるが。自ら教ふると云ふことは猶更大事の事である。既に機運が向いて來て居るから、各自奮つて自ら教育し自ら進むことが肝要である。今は中世紀にあらず。それ故に諸君が眞に世界的知識を自ら得、且つ之を新聞雜誌及著書に依つて得らるべきことを、能く諒解し奮勵努力せられんことを希望するのである。（講演大要文責在記者）

婦人矯風會では此程故榮子供養の意味を以て濱田家より贈られた一千圓の處分に就て協議中であつたが、世界各國より性、戀愛、結婚、矯風各問題に就ての權威ある書籍を購入し、同本部內に矯風圖書館を設ける事に決定した。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

社會運動者と官憲の取締（三）

辯護士　布施辰治

尾行卽ち間諜の役

社會運動に對する官憲の取締りとして第一段の要視察黒表登錄に次ぐものは、所謂尾行であります。尾行とは警察官が社會運動者に對する時々遠卷きの視察丈けては、其取締りを完うし得ないと云ふ處から、常にさうした人物の行動を取締る個人監視制度であります。言ひ換へれば、時々遠卷きの視察ては、常にどんな事をして居るか、又は近くどんな人間を出入せしめ、どんな計畫を爲しつゝあるやも計り難たいと云ふ行動を知り得ない處から、一層の事、個人監視專門の警察官を附き切りに附けて置いて、社會運動者平生の行動一切を手に取る如うに明かにしたいと云ふのが所謂尾行の目的であり、趣意であります。而して其の形式は申すまでもなく社會運動者に對する、官憲取締りの惜まれ役を勤むる警察官が、尾行卽ち俗に云ふ間諜の役を勤むるのでありまして、毎日一定の時刻から社會運動者の家の出入口を擁して、其處に張り番を爲し、出入の者を誰何して之を記帳したり或は毎朝當の本人の出掛ける時には後から隨ひて行つて、何處に寄つたとか、誰れに會つたとか、そして何處に寄つた時どう云ふ話をしたと云ふ事が分かれば、成るべく分かる如うに、亦夫れが分からなければ、どれ丈けの時間話をして居つたと云ふ如うな事は勿論、途中で會つて挨拶した人の名前から其時の會話まで之を知らうとするのであります。併しながら、所謂尾行は文字通りの尾行でありますから社會運動者の頭と頭で交通する行動の一切を探り知ると云ふ事が出來ない爲に、宛然犬が、獲物を探ぐる如うに、何處へ寄つて何を話したか、誰れと會つてどう云ふ相談をしたかを知らうとする事に務めるから、所謂犬と云ふ名前が出て來たかどうかは分からないが、要するに、社會運動者に對する官憲の取締りとして、要視察黒表登錄に次ぐものは尾行であります。

其處で、尾行と云ふ社會運動者に對する官憲取締りは善い事か惡るい事かを考へて見るのに、夫れは申すまでもなく惡るい事でありまして、其の惡るい事は官憲自身も十分に承知して居るのでありますから、官憲要部表面の訓示としては、成るべく尾行せらるゝ者に知れない樣にと云ふ事に爲つて居るらしいのであります。けれども、事實上、本人に知らない樣な尾行の仕方では、到底尾行の目的を達する事が出來ないから、現在に於ける尾行の遣方は、尾行せらるゝ者の處へ名乘つて出て、此れから私があなたの尾行をする事に爲りましたからと云ふ挨拶をする如うな始末で、毎朝早く尾行せらるゝ者の家へ押し掛けて行くのが通例の如うに聞いて居ります。亦實際さうした關係から今日の尾行は、尾行せらるゝ者に

隨屬して、其の使役に甘んずると云ふ狀態に爲つて居るので、終には官憲の主人を社會運動者に取替へる改宗者もあると云ふ事であります。

次ぎは、尾行警察官の人員てすが、少くも一人多きは六七人に及び、現に大杉氏などには四人も附いて居ると云ふ事であります。尾行警察官の人員の多少は、所謂社會運動者の位地等級に據るものかどうかと云ふ內規までは分かり兼ねますけれども、强ち無意味な尾行人員の配給てはなからうと信じます。

有害無效の取締り

先づ、尾行の意義及形式は、大體以上の如しとして、斯くの如き尾行と云ふ官憲の社會運動者に對する取締りは、法律上如何なる根據に基くかと云ふのに私の研究した處では、全然何等の法律的根據なき人權蹂躪であると考へます。何故に尾行が人權蹂躪であるかは、前きに第一段の要視察黑表登錄が人權蹂躪であると云ふ事を申述べたのでありますから要視察黑表登錄以上に尾行せらるゝ者の迷惑てあり、苦痛てあり、而かも官權濫用の露骨なる點に於て尾行の人權蹂躪である事は、更めて言ふを要しないと思ひますから、此處では所謂尾行は果して如何なる法律上の根據を有するかを極むれば良いのでありますが、大杉氏の傷害事件の際、立會檢事棚町氏が、尾行に關する法令が明治七八年頃の太政官令にあるらしい事を云ひましたが、私の調査した處では、間接にも直接にも尾行を許す如うな太政官令は、絶對に無いと信じます。司法警察としても行政警察としても、所謂尾行に法律的根據の無い事は、前きに要視察黑表登錄の視察取締に、法律的根據なき事を說いたと同樣の關係に於て、全然無根據なりと信じます、司法警察の精神に於ても、法文に於ても、之を許しては居らない。夫れから行政警察としての法律的根據があるかと云ふと、夫れも無いと信じます。只た一ツ憲兵職掌中の行政警察に關する事務規定第一條第四項に「國事に關する犯罪を未萠に搜索警防すること」と云ふ政治的危險を有する者の取締りに關する規定がありますけれども之を以て所謂尾行を是認するものと解し得ない事も、又、法文自體甚だ明かであります。要するに、尾行は司法警察としても、行政警察としても其の法律的根據は絶對に無いのであります。外に、最も人權蹂躪的な規定として豫戒令と云ふものがあるのであるが、彼の位非道い法令にさへも尾行を許して居らないと云ふ事から考へても、尾行を許す法律的根據は絶對に無いと言つて宜しいと信じます

其處で、今度は全然法律的根據のない尾行と云ふ方法に依つて、社會運動者を窮屈に取締る事は、果して事實上有效なりやと云ふ事を考ふるに、本人の爲には有害にして無效であり、且つ國家に取つても無益にして有害なりと信じます。若し事實上有效だとするならば、假令法律的根據が無くとも、私共は之を受け入れべきだと思ひますが、事實上に於ても、全然無效有害なりと云ふに至つては尾行と云ふ社會運動者に對する官憲の取締を許して置く事が出來ないと思ふ。

政權把握の爭霸戰

一體、斯くの如き尾行制度は、之を他の一面から言へば、一種の個人監視制度でありますが、個人監視と云ふ制度の無

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

效にして有害なる事は、舊刑法に於て個人監視制度のあつたのを、新刑法に於て之を廢止した事に據つても分かると思ひます。又今日の執行猶豫者に對する取締方を見ても、從來の如うに、警察官憲からヲザ〳〵執行猶豫者の處へ行つて、監視する如うな事はして居らないのであります。政府から見れば、一種の危險人物、注意人物と云ふ如うな見方をして居つても、夫れが一般人の間に相當に容れられて居る限り、官憲の方から彼れは危險人物なり、注意人物なりと云ふ事を知らせて、折角、一般社會から信用を得て居るのを破壞する如うな事を仕ない事に努めて居るのであります。強ひて現在にも個人監視制度があると云ふなれば、夫れは所謂自動任意の監視制度とても名付くべき關係に於て、監視せらるべき假出獄者が、官憲へ出て行くか教誨師の處を訪問して平生の生活振りを報告する如うにと云ふ事に爲つて居るのでありますから、尾行と云ふ社會運動者に對する官憲の取締りの如うに、非道い個人監視をするなどと云ふ事は、今日の制度として絕對に有り得べからざる事だと思ひます。尙ほ之に關聯して言ふべき事も多々ありますが、要するに私の研究に由る尾行と云ふ社會運動者に對する官憲の取締りは、形式的に不法であり、實質的に不當であり、結局、人權蹂躪の甚だしきものだと信じます。私は、前きに社會運動者に對する要視察黑表登錄の取締りが、思想の壓迫であり、感情の殘賊であり、營業の妨害であり、信用の毀損であると言ひましたが當該法條の判例を見ると「威力とは人の意思を制壓する勢力を指稱する義なれば犯人が相手方に對して暴行脅迫を加へたる場合のみならず、犯人の恐喝又は位置權勢に因りて相手方を畏怖せしむるが如き場合をも指稱するものと解するを相當とす」とあり、且つ學說には「威力とは暴凡て人の自由を抑壓する勢力を云ひ、暴行、脅迫、恐喝は勿論、地位、權勢、權利を濫用して人を畏怖する場合をも包含す業務とは人が反覆執行する經濟的事業を云ふ」とありますから、黑表登錄の取締以上に露骨な尾行は、當然同罪を構成するものと考へます。又、見様に依つては、所謂尾行と云ふ文字通り、他人の身邊に濫りに追隨して行く事は、警察犯處罰令第一條第三十一號に當るとも云ひ得やうと思ふ。

不當嫌疑不當檢擧寃罪投獄

以上私は、社會運動者に對する官憲の取締りとして、現に行はるゝ第一段の要視察黑表登錄、第二段の尾行と云ふ事に就て、其の意義、其の形式の解釋を試みたのでありますが、司法警察としても、行政警察としても、之を肯定する能はざる不都合の處置なりと斷言する事を憚りませぬ、が、しかし、斯くの如き取締りは、實を言へば、まだ〳〵初步でありまして、更らに進んでは問題にもならない事を問題として、刑事事件の嫌疑と云ふ方法に由りて、行政上の取締りを司法關係の名に藉る不法檢擧があり、終には法律を曲解したり、虛僞無實の證據を捏造したりして、全然の寃罪者を投獄する如うな不當投獄の取締りもあるのでありますから尙ほ此の上不當嫌疑、不當檢擧、寃罪投獄、若くは買收の骨拔と云ふ順序て、第三段、第四段、第五段と社會運動者に對する官憲取締りの事實を擧げて批

評したいのでありますが、今は其處まで論究する時間がないから、此處では社會運動者に對する官憲の壓迫的取締中、第一段の要視察黑表登錄、及び、第二段尾行の事示に限つて、此の點の叙述を止め更らに以上官憲の壓迫的取締に對して、所謂社會運動者は、如何なる態度を取れば宜しいか、卽ち（一）如何にして之に對抗すべきや（二）如何にして之より脫出すべきや（三）如何にして之より救濟せらるべきやに就て、聊か所見を述べたいと思ひます。

しかしながら（一）對抗（二）脫出の兩者に就ては、私より之を說かなくても大體に於て、一般の承知せらるゝ一例を言へば、要視察黑表登錄の官憲取締りとして、ウルサイ程刑事巡査が這入つて來た時に、嫌やがらせを言つたりなどして追ひ拂はうとしても、容易に成功しないと云ふ事である。此の事に就て、先般八幡製鐵所關係の勞友會本部では、斯う云ふ新發明をしたと云ふて居りました、夫れは刑事が來たら嫌がらせを言つたりなどするよりも、煙草を持つて居る刑事だつたら、皆んなで一本頂戴と云ふて煙草をセメ取る事である。甘い物好きの刑事であつたら、あみだを遣つて惡るい籤を當てゝやると、大概の刑事がまいつて仕舞ふと云ふ事であります。是れなとは無害な而かも有效な手段であると思ひます

夫れから尾行に就ても、詰らない嫌がらせをするよりは、從卒同樣に使つて遣ると云ふ事である。是れ又、無害にして有效且つ實を言へば押しかけて來て居る事の出來ない家宅侵入者たる尾行刑事の嫌や應云ふ事の出來ない手段であると思ふ。

次ぎに、第三段の救濟策に就ては私より法律的に云ふて見たいと思ふが、尾行は明かに人權蹂躪であると同時に、壓迫的取締りの犯罪を構成して居るものだと考へるから、夫れを理由にアベコベの制裁を加へて遣る事が一番だと思ひます。何故なら、前きにも言ふた如うに、要視察黑表登錄の取締りも、尾行、取締りも、時に營業妨害となり、時に信用毀損罪となり、而して夫れ等の法定刑は懲役刑に當るのでありまするし、且つ夫れが常に現行犯關係に爲るのでありますから、刑事訴訟法第五十八條以下の現行犯に關する規定によつて、私共一般人民、卽ち社會運動者自身、要視察取締り尾行の警察官を逮捕して、警察へ突き出す事が出來るのであります。私は決して矯激なる言語を弄せんが爲に之と言ふのではない事ろ官僚の牙城たるが如き非難のある今日の警察に對して、國民警察を主張する上から考へて見ても、斯うした遣り方の間違つて居らない事を信ずるものであります、が、しかし、實を言へば、人權蹂躪の度を超えた營業妨害、信用毀損と云ふ犯罪を構成するが如き官憲の壓迫的取締りを社會運動者に爲し得る所以のものは、時の政權を把握して居る官憲なるが爲であります。從つて、官憲取締りの不法不當を難じて、之が犯罪に當るからと云ふ理由の下に、所謂現行犯處分逮捕を斷行して、警察へ突き出す事は、其の警察が矢張り自分等のものである時で無ければ駄目なのかも知れませぬ。於茲乎、社會運動者に對する壓迫的取締をなす官憲と、壓迫せらるゝ社會運動者の覺悟は相兩立を許さゞる關係に於て、彼此相搏つ政權把握の爭覇戰と爲る譯であります。分かり易すく換言すれば、不法なる壓迫

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

的取締りを爲し得る官憲は、時の政權を背負つて居るからであり、不當に壓迫せらるゝ社會運動者は、全く政權に遠ざけられて居るからだと云ふ事に爲るのであります。故に此點の爭覇戰は法律上の問題ではなくて事實上の力たる政權爭奪の問題だと云ふ事に爲るのであります。

一脈共通生活の不安

偖て然らば、政權把握の爭覇戰的態度を今日の官憲に於て如何にするか、又、特に社會運動者に於て如何にするかと云ふ事は、不當嫌疑、不當檢擧冤罪の投獄と云ふ如うな壓迫的取締をせられた場合に就て、深く考ふる處が無ければならない一種の被告講習と云ふべき研究を遂げた救濟に論及する必要ありと考へますが、今日は其處まで論ずる事を略します。唯だ一言、所謂爭覇戰的覺悟の壓迫的取締の結果に對する所見を皮肉に言へば、甚だ有效にして有害なりと言ひ度い有效にして有害と云ふ言葉は如何にも變てすが、壓迫的取締の結果は、所謂無效ではない、官憲取締り直接の目的を完うして居る點に就て有效だと言ひ得るが、社會運動者の反抗心を唆る點に於て、官憲取締りの目的から云へば、確かに有害だと言はざるを得ないのであります。亦之を壓迫的に取締らるゝ社會運動者の立場から云へば直接壓迫せらるゝ事は如何にも有害であります、けれども、さうした壓迫的取締りに由つて刺戟せらるゝ心身の鍛錬から云へば、極めて有效であります。之を藥學的に云へば、高い價を拂はせらるゝ高價藥は、高い價を拂ふ點に於て、經濟上の有害であるけれども、其の效力の顯著なる點に於て甚だ有效なのと同じ事であります。之が私の敢て有效有害、有害有效と云ふ所以であります。

以上の如くに論じて來ると、社會運動者の官憲取締りに就て、事實上其の衝に當る警察官に對して、甚だ同情なき皮肉と遠慮のない非難とを加へたいものゝ如うに考へらるゝ方もありませうが、私としては、決して殊更に社會運動者の肩を持つつもりでもなく、又警察官を惡るケナシたりする量見でもない夫れよりも、所謂社會運動者が有らゆる壓迫に堪へ忍んで、社會運動に從事する心事と、所謂警察官が職を警察に奉じて社會運動者を壓迫する心事との間に、一脈共通の或ものがあると信じて、警察官及社會運動者に共通する一脈の刺戟を一樣ならしめんが爲に之を言ふたのであります。果して然らば、社會運動者と警察官とは、壓迫せらるゝ一方と、壓迫する一方との反對な立場に居りながらも、其の心事に共通の一脈を存すると云ふのは何かと問はゞ、曰く國民生活の不安、曰くパンの窮乏だと言ひ度い、所謂社會運動者の中には自らの生活難を問題として麵麭の缺乏を叫ばないまでも、同胞兄弟の生活難を見るに忍びずとする國民生活の不安とパンの缺乏とを叫ばざるものは無いのであります。更らに警察官に至つては、恐らく其の總てを通じてパンの爲に其の職を執りつゝあるのではないか、何人と云へども、好んで今日の如き社會狀態に於て一般から蛇蝎視せらるゝ警察官と爲つて居るものは尠ないであらう。況んや警察官の中でも、尤も厭はるゝ刑事に爲つて居るものはないと信じます。

握手する時

して見ると、警察官と社會運動者との

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

間に、共通の或るものがあると同時に、其の程度は生活難の促迫、パンの缺乏、共に警察官に取りて甚だ急なるものあるを思はしむると考へます、何故なら同じ心事に發せる壓迫、被壓迫とは云ひながら、壓迫せらるゝ心事には、悲壯なる犧牲信念の慰めがあるのであるが、壓迫するものゝ心事には、良心の苛責に堪へざるものがあるてあらうと思ふからであります。處が、同じ様に生活難を愬え、パンの缺乏を嘆く一般民衆の爲にと云ふ社會運動は、矢張り警察官の爲にも幸ひする運動なのである。感謝の心を裏切つて恩を仇で返へさなければならない警察官の心事こそは、如何にも氣の毒に堪えざるものがあるてあらうと信ずるのであります。今日の如く思想界の混亂、政治界の迷濛が流れ〱て殆んど停止する處を知らない種々の問題に就て、尤も職務上の困難を感ずるものは直接一般民衆に當面する官吏であります。其の中でも、法律を楯に强面を以て一般民衆に接觸しなければならない警察官であると考へます從つて、其の如うな劇務難職である警察官に、進んで爲るものが果してあるてあらうかを考ふるに、私は無いと思ひます全く生活難の爲に脊に腹は代へられない結果てはありますまいか、饑えては人の肉をも嚢ぶると云ふ如うなものではありますまいか。私は決して皮肉ても嫌味てもなく、今日の警察官に對して、心からの同情を表して居るものてあります。然るに頑迷にして固陋、陰險にして老猾、無情にして慘酷なる官僚の或者は、斯くの如くに窮迫せる警察官の生活難を利用したり、誘惑したりして、時に增俸を他の官吏に先つて行つたり、特別賞與の制度を設けて警察官を活ける官僚の牙城たらしむるが如きは人道上の問題てあります。斯くの如くにして、民衆の包圍に立籠らんとするが如き官僚があつたならば之れ實に民衆の敵てあると同時に、亦、警察官の敵てあると云はなければならないと思ひます。何故なら、警察官の人格を無視して、其の良心に裏切らしめ、警察官の窮迫を利用して、活ける機械の如く奴隷的に處遇せんとする點に於て、實際警察官の敵てある事を警察官諸君と共に認めなければなりませぬ。故に私は考へる所謂社會運動が一切のものゝ解放にありとするならば、先づ、最も強く縛しめられて居るものを、最も先きに解放して遣らねばならない。亦、解放すると同時に、社會運動者の手足纏ひとなつて次ぎから次ぎへの社會運動を續けて行く事の出來ない如うなものを眞先に解放するよりは、解放すると同時に、直に社會運動者の味方と爲つて、解放運動を共にする者に向つて、解放の第一着手が染められなければならないと云ふ戰略に一考を加ふる必要があると思ひます。此の意味に於て、社會運動者の解放運動は奴隸的に官僚の繫縛を受けて居る警察官を、官僚の手から解放せしむる事に努力せなければならないと信じます。如斯に論じて來ると、警察官と社會運動者とは、必ずや握手する時があるてあらうと思ふ。而して、夫れは警察官が自己の境遇をまざ〱と見た時てあります。其時は有らゆる壓迫に堪えて、警察官の爲にも解放を計つて呉れた社會運動者に共鳴する時てあります。夫れは社會運動者としては敵を愛するの心てあり警察官としては恩に酬ゆるに仇を以てした自己の非を悔いて、眞理の前に跪く時てあります。(了)

憐れなる呼吸者

遠藤德次（投）

（一）

世に酌婦と稱する者ありて、飲食店、料理店には至る處二三人より四五人の婦人を抱へ置き、專ら淫賣を秘密の公然に行ひつゝあり。本縣にては、四等藝妓酌婦として立派に鑑札を交付し、税金を課し居れり。然るに警察側にては、之を私娼として取締り、毎月二回檢黴を行ひ居れり、尤も名儀は健康診斷なれど、之れを廣義に解釋せば客席に侍するが爲めには肺患、トラホーム其他の病氣を檢すと云ふ理窟もあらんが、實際は單に局部の檢査のみなり。之れ卽ち淫賣を爲すものと認めたる結果とて、而して一面には其淫賣を所罰するの法あり甚だ矛盾したる政策にあらざるか。

（二）

彼等若し淫賣の現場を發見せらるゝ時は、忽ち拘引せられて相當の處罰を受く而て其服役間の損害は、自己の負擔たり服役に代ゆるに罰金を納むるも又自己の負擔にして、主人は對岸の火視して平然何等の損害もなく、何等の拘束なく。勿論正面の理窟よりすれば、之れ或は當然ならんが、然れども一歩進んで彼等の内情を探ぐれば、十中の九は之れ主人より脅迫、威赫、歐打、其他の虐待によりて止むを得ず淫賣の罪を犯する至るなり。

如何なる阿婆擢れの婦人も、初めは清淨無垢の處女なり。或る境遇によりて斯る賤業に陷いるや卽ち主人より前段の迫害を蒙りて、遂ひに知らず〲の間に常習性となり、自ら進んで玉數（淫賣數）の競爭を爲する至る。彼等は初め頗ぶる之を厭ふ、然れども弱き者よ汝の名は女なり、何時までか主人に抗するの勇あらんや、夫れ斯の如くにして、清淨無垢の身良妻賢母たるべき者も、終に論落の淵に陷りて一生浮む瀬なきに至る、憐れなるかな。

（三）

彼等の前借金は、最高五百圓より最低貳百圓位を普通とす、而して其負債償却方法は、一ヶ月一圓乃至貳圓の定めとして證書を締結するも、之は一片の形式に過ぎにして、實際の差引きには計上せず單に玉代の割を以て計算するなり。故に一人平均三百圓の負債と見積り一人の婦人毎城平均一人の客ありとせば其計算左の如し。

一金參百圓也　　負債

　收入一ヶ年分

一金九拾圓也　　一人の玉代一圓とし其内七十五錢は主人の收入二十五錢自分所得故に一ヶ月七圓五十錢として一ヶ年分

内

金拾五圓也　　衣類代最も安物の相場

金拾貳圓也　　化粧品代極檢約して

金拾五圓也　　紙代及小遣

　　　　　　　之れは自分客としたる者飲食料支拂不能の場合自己の負擔にせしめらる

計

金五拾四圓也

差引

金參拾六圓也　　此分實收入

此外税金あり

右の計算によれば、參百圓の負債は八年强の年月を要すべし、若し一ヶ年を經ざる内他へ住替を爲すときは、本縣の定めとして、周旋業の手數料は金額の一割なれば、卽ち三十圓の負債を增すを以て一ヶ年の收入は零となり、從て負債償却の見込みなし、然るに一方主人側の計算は、參百圓の債權に對して右の如き利得あり。

一金參百圓也　貸付金

一金貳百七拾圓也　收入一ヶ年分（一人の婦人玉代一圓として其内七十五錢所得一ヶ月二十二圓五十錢一ヶ年分）

一金參百六拾圓也（一人の婦人玉代を得る場合酒食料の利益一圓と見積り一ヶ年分但之は最低額なり）

計金六百參拾圓也

差引金參百參拾圓也　純益金

右の計算は最も事實にして、却つて少額に見積りたるものなり、而も其純益斯の如し、天下何者が之に匹すべきものあらんや。蓋し事實、は一人の婦人一夜平均二人を下らざるべし。美貌の者は、一夜六七人の玉數ありと云ふ。豈驚くべきにあらざるが、以上は酌婦對主人との比較なれば、更に酌婦對社會に與ふる害毒を擧ぐれば

一地方青年に梅毒患者多く又怠業者放蕩の者總出す

一窃盜、詐僞、誘拐等の犯罪多し

一地方良家の子女をして華奢に流れしめ質朴の風習を根底より破壞す

一當地の如き漁村は漁夫の怠業多く生產力を殺減す

一一般の風紀を紊亂す

（四）

夫れ公娼は、五百圓乃至壹千圓の債務を負ふも、三年或は五年の年季を以て負債を相殺し、再び自由の天地に生るを得べきも、私娼は卽ち公娼と同一の勤を爲して、而も其負債償却は前途遼遠にして、其限度定め難し。只一は拘束を受くる嚴、一は拘束を受くるも稍々寬なるの差あるのみ而して社會に害毒を流布するは、尙公娼に勝れり。

今や公娼を以て人道に悖るとし、之れが廢止を論ずるに當りて、私娼に對しての同情なく、又危險視する者なきは吾人の怪とする處なり。然れとも酌婦は社會政策上必要と認むるならば、吾人は絕對に之を廢止せんと云ふにあらず。只彼等を悲慘なる境遇より脫せしめんと欲するなり。故に淫賣の强要を絕對的嚴重に取締りて、彼等の意志に任せ、前借金の返却方法は玉代によらずして、年限若くは他の方法を以てするの策を立て、住替手數料は低廉ならしむる事（茨城縣は一回金三圓なり）主人の虐待を抑制して可成外出を禁じて風紀を紊すを防ぐ等、其他有害と認むべき點を改め、就中、彼等をして速かに自由の天地に活かしめんことを望むにあり。

右の一文は友愛會の鈴木氏より左の書翰を添へて寄附せられたものである。

益御淸適奉大賀候、さて小生儀今回別紙の如き書面落手仕候處、文章によれば小生の畑にあらず寧ろ貴會の領分と存じ候まゝ御轉送申上候。何卒可然御處置被下度奉願上候匆々

八月廿九日

鈴木文治

伊藤賢臺侍史

謎の世界吉原日記（六）

元吉原病院看護婦　田口和子

七月八日（火曜日）

上野の帝國圖書館へ行く、ソシテ目錄をあさり居たら、吉原細見や、新吉原繁榮記があつたので先日の讀みかけ、アンジャー・ドソン傳及使命と云ふ宗教雜誌と並べ記るして請求した所、係り員「他の本は普通のお方に貸す事は出來ぬ樣になつてますから」と斷はられ「吉原春秋行事」と云ふ物一冊しか貸して頂けなかつたのは滑稽―それにしても見てよくない物を何故目錄中に記入し備へ附けてあるんだらう…、私は帝國圖書館ともあらう所に斯んな物が備へてあるのが初めから不思議に思つた位だから敢へて見たくもないけれど……。

七月十日（水曜日）

院長殿の見直し時…大きなお聲にて「お前も出たら、醫者に行くんだぞ」「お前も歸つたら、なまけずに養生せにやあ、駄目だぞつ!!!どこが惡いから、こゝが惡いから、お前は通院だぞ…、一ぺんでもぬけぬ樣に…（通院とは主として黴毒症所有者が、一週月、木、土、曜日に病院へ來て、注射を受けるのである。目下の人員數は、之が百三十名。何故なれば病院內で、表面だけ癒したので確かに、不完全なるが故である）と仰る言葉が今はもうさゝ慣れてか一寸も珍らしくなくなつた。

が…今日の見直し時、年取つた娼妓に向かひ「オイツ！お前一たい、何べん入院したら癒めるんだいつ！これで今年四度目じやながつたか？こんどは入つて來たら、もう出さないぞつ、いゝかつ、入院して來た上に、叱られて、お前らの損じやあないかいつ！」と、きびしく〳〵云ひ含めてらつしやる。

其他又！前に入院して、何の病氣だつたか病名をおぼえないと云ふ者がい妓に「お前は入つた時の病氣の名を知らぬ樣な…そんなボンヤリだから、何べんでも〳〵入院するんだ。！娼妓になつてまだ幾日もたゝないくせに…」と、青い顔して立ちすくみ首うなだれて濟みません〳〵、是れから氣をつけますから…」答へる妓等の顏から いよ〳〵、六ケしいお額遊ばして

「再々入院する奴は、いつでもボンヤリしてるからだよ…、お前もそうだつ！わかつたらいゝから、あつちへ行けつ…」と、まるで何と云つたらいゝだらう…狼の前の小羊か、生の望みなき子鼠が、猫の前に在る時の樣な態度、私はいつも斯うした不甲斐ない娼妓の態度と、官醫の態度を見きゝするたびに悲しまざるを得ないのであります。入院が四度びは五度び…六度だつて十度だつて、惡るければ進んでゞも入院する樣に娼妓に云ひふくめ、生ま半可で退院するより、長くなつてもしつかり養生しておかればと云ふふうに悟して忠告するのが、ほんとだのに、いつでも「どこが惡い！こゝが惡るい」と仰り乍ら、退院させなすつて、毒を受け易くしておき乍ら、再び入

れぱとて…あんな宣告をするにゃあ及ぶまい。

しかし、それは各醫の受持ち醫士も、いゝかげんで、出す習慣になつてるらしいから、敢へて見直し時は八ケましく云ふは、當り前なのかも知れぬ。「駄目にして出て見るさあ…」とか…「まだ〳〵あやしいけれど、出しておかふか…」なんて、仰り〳〵コマ（治癒のしるし）をつけてらつしやるから…、患者の方から取ても「少々叱られたつて、惡くたつて退院した方がいゝ」とわからさまに云つてる位だから、云はゞまあ惡魔と惡魔が妥協して世を害してる樣な者であると思ふ。

七月十三日（日曜日）

廿五號室の重症者…鈴木フジに付いてる看護婦S樣がとふと、今日は泣き出し歸るから…と云ひ出された、何故かといふに、ソレハ患者の餘りな、我が儘を訴へてゞある、當直室にいらつして「私も五年越し、人樣の看護をして、隨分いろんな目に逢つて參りましたが、此度の樣なひどい目に逢ふのは始めてです、今日も斯うですよ「水蜜桃と栗を買つて來い…」つて迫めるから「あなたの病氣は此二三日こそ、やうやく癒りかゝつて來てるんですから、暫らく辛抱なさい、今そんな、先生からとめられてる樣な物を食べては、又惡くなりますよ、でも先生におたづねして、よかつたらね…」と云つたら「フンッ…附添ひのくせに、そんないらん事、先生に告げて叱らせる樣なら買つていらないよ…看護婦つて者は患者の云ふ事なら何でもきくが、本當なんだ、人にかくしてでも買つて來てくれるのが、附添の役目じやあないか…」つて

それでも私は「あなたの體の爲なんだか

られ―」と手供をすかす様に、氣嫌取つたのよ、そうすれば「いけすかない奴だの…馬鹿だのつて、止めるのをきかず、態と風の吹き通す廊下の庭へ降りる所へ出て腰かけるのよ、仕方がないので、先つき實は一寸外出を願つて、その爲に出て來たの、そしたらあいにく此近所に氷屋だけて、栗なんかないのよ、だから其のわけを話せば、こんどは「途中で食つて歸つたんだとか…、嘘つき看護婦とか…私もう、如何に相手が相手だから氣にはすまゐと思つても、辛抱が出來ません―もうどうか先生にお願ひして、お暇を頂かして下さい」とお泣きになる。「私等皆して全くお氣の毒てす…普通の病者を、取扱ひつけて、こゝにいらつしては大きな相違てすから、看護のしにくいのも、お察しゝてますわつ…、けれどもどうか、今暫らく辛抱してゝ下さい、勝手な事を云ふ樣てすけれど、病院の方にも人手が足らないて、困つてる所てすから」と、やうやく承知して貰ひ、今日の分は、免かつたのだけれど。

七月十四日(月曜日)

市ケ谷の伊藤少校宅より、星野様宅へと、久し振りにお訪れする、星野様宅て、お二方(少校と牧師)救世軍の、現今に至る士盛時代…其困窮せる物語りをきゝ非常に、眼覺める所があつた。

殊に、大阪小隊に在りし昔…横須賀小隊に任ぜられし當時のお話ども…、食べる物がなくつて、芋や豆…ネギの大安賣り、それを二貫目程も一時に買ひ入れ、漬け物も、お汁もネギだらけにしてしまひには、眼が悪くなるやら、のぼせるやらして往生した事もあるとか…それても、神の榮を崇める爲め、と辛抱に辛抱をしたが、開けぬ當時の事とて、なか〱、救世軍を理解してくれる者がなかつた……と云ふ如き、物語り…私は之を、じつときいて

「あゝ、私達が今病院て食べてる所の御飯が外米てなければいゝのに…なんて不足は云はれない、此人方は、そんな辛酸まて、なめて來てらつしやるものを…私等はむしろ、恭けないと思はなければならぬ…」と泌々感じたのてある。

世には大事なく〱國民教育の任に、たづさはり乍らきくもあさましい増給問題等起してる騒ぎに、引き代え…是れは又、眞に何と云ふ尊とい、清い、從業者てあらう…とても〱、神の惠み…と愛とを知らざる人には眞似る事の出來ない、氣高さてある事を、私は今日と云ふ今日泌々感じたのてあります。

七月十六日(水曜日)

午後の休み時間感ずる所多かりしまゝ廊下の手摺や踊場に出て、患者がみな門の方を眺めて何等か騒いてるので、見ればやはり門口へも男子が一つぱい寄つて何か…口々に語り合つてる、私は今迄、ゐた娼妓病院の積りで之れは、この病院てはもう、周圍をすつかり家て圍まれ、裏ら口とか便所口とかへ出て男子に逢れないから、あんな所へ延び上がつて話すんだなあ…とのみ…思つた所、今まて門衞さんとこに出てゐたS様が來られて仰る樣…「今れ外國人が門などか〱入つて來て、守衞さんに、せき(たぶん座敷の事だらうとか…)は、ありませんか?ありますか?と一生懸命に問ふたので、二人も一生懸命、くはしい言葉ては通ぜず胸やおなか…頭等は、痛むまねをして見せ、とうとべツトに寢て聽診器當てる風まて見せたので、やうやく承知して去つたとの事…どうりて先き程の人だかりがよめた。

と此時牛乳を取りに來てゐた某樓の入院患者、松島さんの語る樣、「それは私とこ許りじやないからいゝけど外國のお客と見ると、もう始めつから金をたくさん持つてるものと見込んて、一時間三圓の所は、十圓又は十五圓、きれいに取り上げる、もし泊ると云へば二十圓も其倍も取つて歸すんだ」と云ふて居る。

又「いつかは寺と間違へてか、玄關先きから手を合はして、不器用な拜み方をしたので、私等や男衆が親指と小指をくつつけ、枕を出して、寢るまねをし、あなたもいらつしやいと手招きしたら、一たんうなづいて、又手を振り乍らノウ〱と云つて去つて了つたとか、又は客としての異人さんは、日本人よりはるかに欺しいゝとか、かあいゝとか、接しいゝとか…もういろんな勝手な實驗談を語つて聞かせ、人は興がりて笑へど私はひそかに寒心せざるを得なかつたのである。

七月十八日(金曜日)

當直…正午十二時より夜の十二時迄當直者は午前中の各自受け持てる勤務の外、特別の責任を負ふのてあるから、當直非番の時はほんとに籠の中から放たれた小鳥の樣な氣がして皆、自由の天地をよろこび待つのてある。

それに引き代へ同じ人てあり乍ら、同じ家の中に住み乍ら、退院の時より外一歩も屋外に足を踏み出す事の出來ぬ入院者…患の字が附けば病者には違ひなきも就床者はほんの數へる程、ベツドなき室々に、寢そべりて、たいくつの餘り、小説によみふける者…煙草に呑み暮らす者、化粧をして見たり髪を解き合ひ結ひ合ひ…或は狭き庭に、鬼ごととして終日を暮したり又は賣店代りの賄部へお百度ふんだり(菓子等買ひに)する、患者さんばかり、看護婦が代る〱に出る樣を羨やみさゝやくも無理ない事と、しみ〱氣の毒に思ふのてある「アヽ、出たいなあ…」等と狂的に、廊下を誰とはなしに當てつけ乍ら、あるき叫ぶ患者に

「お出なさいな…同じ人間てすもの…何も苦しんてがまんしてる事ないわつ…」とわざと云つて見るに

「でもれ、金が仇の世の中で……」と云ふので

「だつたらあなたがた病院だけを出ても、やつぱり自由に歩るけないてはありませんか、下だらない金なんかを頭においては…」と云ふに

「だつてれ―そこが商賣で、こつちの口一つては一晩四五十圓宛使つても、いとはないて、私等新造から仲どんをお供に、芝居や活動を、見せに連れてゆきますからよ」と。人を欺して金を使はせる事、餘計な附屬物、新造や仲居がついてゆくのは、自分の見張り、身の促迫とは氣がつかず、お供をして來るのだ…と誇らし顔てゐつたのは、又一としほに哀れをおぼえた。

斯くて當直者は、夜の十二時を待ち歸室して、明け番(十二時より夜明けの六時まて、同じく特別の責任…を負ふて當直室に出るのてある)と交代し「さあ…之れから私の身體だ、朝までぐつすり休みましよう…」とホツと息つく間もなく…定つた樣に意地悪るく向ふの樓から馬鹿騒ぎを始める。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

短編

水の流れ

小林隆之助

いよ／＼料理屋の女中奉公になる事に極つてからもおみつの心の中の内ではいまにも急にいゝ事が湧いて來て、緣な女中奉公の話などは自然立消になることのやうに、神や佛に縋つたのであつたが、それも到頭空頼みになつて了つた。今日の日を思ふと、何だか妙に腹立しいやうな氣分になる自分を何うする事も出來なかつた。

おみつは過去つた自分の苦勞を顧みると、自分で自分が憐まれた。涙の出る程傷ましかつた。夫婦共稼ぎといふ形ちでどうにか身代を築上げようと、身粧も調はなければ、碌々物見遊山などにも行つた事がなかつた。寒くても暑くても、朝は渺暗い頃から晩はきつと十二時の針の廻る迄、懸命に働いたのであつた。——それが今では何になることか。夫が詰らない女に引掛つて、騙され行く資本になつた許り、喰べるものも喰べないで買つた一つの安簪笄までさへ、いつの間にか無くされて了つて。

おみつは丸々一年の間姿も見せない夫の薄情な仕打を思出すと、強腹が立つて出會ひ頭に思ふ存分な悪口でもついて揚句の果てに齒の根がグラ／＼する程、相手の身體の何處へでも喰ひ付いてゞも遣らなければ腹の虫が治らない齒痒さを感ずるのだつた。けれどもいまの場合どうする事も能なかつた。二人の間に生れた源吉はもう命を落すまでに、其の間の日數はいくらもないと醫者から無慈悲な申渡しがされてある。去年の春急に大熱が出て死に掛つたのを、注射の力でやうやう命拾ひをしたものゝ、それからといふものは終始臓腑くて、加之に口一つ利けない不具者になつて了つた目の大きい素直な有様を見るにつけ、せめての事に何うせ短い命なら、息のある間だけは見窄らしい服裝をさせたくない。粗末な物は喰はせたくない。ならう事たら此儘自分の懐で安かな息を引取らせたい。といふ想ひが胸一ぱいに追つて來て、何處を何う飛歩いてゐる事やら行方の知れない夫の身の上などにかゝり合つてゐる餘裕がない。おみつは唯だ穴でもあれば、何も知らずに親子二人で這入つて行きたいといふやうな事を望むのだつた。

桂庵に連れられて行つた料理屋のある或る田舍町はすべてが陰氣臭かつた。

『不馴れの間は爲方がないんだから、前からゐる人達に熱く聞いて落度のないやうにしなさいよ。なあに少しも心配する事なんかありはしないんだから』

種々と親切ごかしに敎へてやると云つたやうな口吻で、判切つた事を料理屋の主人の手前ゴタ／＼と並べ立てゝ歸つた後は、何だか急に淋しさが身に對へた。日當りの悪い路次裏で、手足を眞黑にして根氣の續く限り稼いでゐた自分を顧みると、他人のことのやうに思はれてならなかつた。殊に其家の女中の一人となつて、其處此處の座敷に不馴な身體を運ぶやうになつてからは、見るもの聞くもの凡てが珍らしくて、わたりに居る人達や遊びにやつて來る人の心の内が計り兼ねた。皆それ／＼氣樂さうな、お金などはいくらでも自由になるのが不思議に思はれた。それ許りではなかつた。ちよつと、それはほんの一寸の間、顔を出した次て思ひ掛けない祝儀を貰ふ時などは、何うして良いやら判らないやうな極りの悪い思ひをしなければならなかつた。

おみつが一つのお座敷を受持つて何うにか切廻して行けるやうになつたのはそれから約四ヶ月許りの後だつた。其の間の苦勞といふものは、身體こそ自家にゐたやうに疲れはしないけれど、心の疲れることは並大抵ではなかつた。女中仲間に對しての氣兼氣苦勞、主人への忠勤、分けても顔や姿の變る每に皆それ／＼氣心の異つた日每夜每に出入りする數多のお客の氣嫌を取るのは容易な業ではない。醉客などが歸るとか歸らぬとか言いたい存分の事を言ひ、したい存分の事をしようとする時などは、涙の出る程痛ましくなるのだつた。

『何う考へ直して見ても私には此奉公丈は出來ないかしら』といふ意味の手紙をお袋にやつた事も再三ではなかつた。一つには何か事ある度每にはきつと里に出した源吉の身の上を考へ起すが爲めでもあつた。これまでに苦勞しなければたつた一人の脆弱い子供の養へが出來兼ねるのかと思ふと、今更金持ちが羨しくなると同時に、面憎くいやうな氣持もする事もあつた。

『どうしたのおみつさん』

或る晩、女中部屋で直ぐ側に寢てゐるおきよがさう不思議さうな瞳を据ゑた。

その時もおみつは一人寢卷のまゝ、枕許で眠い目を擦つて覺束ない筆を運むでゐたが、暫くして不意に書きかけた手紙の上に打伏して吃逆泣きをしだした。

『どうしたのさ。何處か加減が悪いの？。』

『濟みません／＼。私、乳が張つて痛むんです。』

やゝあつておみつは斯う言ひ乍ら目を拭つて上げた其の顔は、誰の目にも痛々しく見えた。

『乳が張るつて何うなるの？』

誰か一人がさう云つた。すると年嵩のおきくは、自分でもそんな覺えがあつたやうに、其の時の氣持ち惡さを染々と皆に話した。

『でも、よく思切つて來られたね』

『道理でおみつさんの陰氣も無理はないわね』

互にこんな事を打合つて、その兒のことやおみつの身の上を根掘り葉掘り訊出す事などもあつたりした。

如何に人間が焦燥つても藻掻ても時は容赦なく流れて歇まない。

今日出よう、明日出ようといふおみつの望みも、丸々半年の間何うする事も能ない空しい月日に引摺られた。それまでの間にはいろ／＼の男が手を代へ品を換へおみつに寄り添うとしたけれども、それに應ずるには餘りにおみつの心が淋しかつた。割合に容貌も上品であつた爲めでもあらうが、一には内氣で沈み勝な性質を持つ女であつては、酒呑みの相手として全く畑が違ふやうに皆から受取られてゐたからでもあつた。

『私には皆さんのする眞似は出來ないんですから。』

それが爲め或るお客などはひたあやまりに謝罪るといふやうな、全く別世界のやうな幕が落ちる事もあつたりした。

『おみつさんも男で苦勞してゐる人にも似合はない判らずやだねえ。』

馴染筋の旦那連にヒソ／＼話してゐる他の女中達の聲が其處此處の座敷から洩れることなどもあつた。

初めこそ女中仲間から朋輩の一人になる人と許り思はれてゐたおみつが、さうした別人のやうな仕草で立働くのを誰も彼も面白く受けなかつた。

『フン、たいしたものだよおみつさんは』

半ば自暴自棄氣味のやうな態度で、おみつに突掛つて來るものさへあるやうになつてから間もなく、おみつは叔母に引取られて東京の場末の或る待合に奉公する身になつた。けれども矢つ張り、それまで心に描いてゐたやうな氣樂な處ではなかつた。身體が樂であれば、樂である程氣骨が一倍折れるものだといふ事を覺束ながらも悟つた時には、最う遲かつた。

『お前も亭主の爲めには散々苦勞をしたのだから、今度はみつしり骨身を入れて、一ついゝ旦那でも持つて妻子を捨てゝ出て行くやうな奴の鼻の穴を開かしてやれ。』

叔母も近所の同業者の××家に十幾年か、一つ奉公をしてゐる所爲か、兎角おみつが金が欲しいと言へば、きつとさう勸めるのが口癖であつた。お叔母はいろ／＼におみつの氣を引いて見るのだけれど、いつも擽い思ひをしては

『ほんたうに腑甲斐ない話さね。』

『私にはどうしてもそんな事は出來ないんですから。』

おみつの答へはいつも同じだつた。

『こんな旨い話は又とありはしないのに。』

矢つ張りおみつは叔母の考へてゐるやうな女ではなかつた。さうした經緯に時を過してゐる内に、三つの月が瞬間に推移した。何處を何う聞知つたか、遠方で稼いてゐる筈の夫が、或る日の夕方見窄しい姿でおみつを尋ねて來た。が(幸か不幸か)其時おみつは一寸外へ用達しに出掛けた後なので會ひはしなかつたが、その翌日釘を並べたやうな字を連ねた葉書を見て夫の居所丈けは知る事が出來た。

分り難い路次裏をまご／＼漸く尋ね當て疊のボロボロした三疊の間借りをしてゐる姿を毛布にくるまつて痩衰んでゐる窶れた夫を見たおみつは、いゝ氣味だと思ふ一方、何だか急に憐れぽくなつて仕方がなかつた

『お前も大層墜つたじやないか。』

目と目を合せた時、男は憫い口の利き方をしてぐつたりと萎れた。その癖は二年前に似ず如何にも悲みがゞつて響いた。

二人はポツリ／＼と隔りのあるやうな會話をしながら、互に過去つた昔の甘い夢を見ようと努めた。

『お前も磨いたと見えて大分奇麗になつたな。』

『ひやかしちやいやよ、私これで本氣なんだから。』

男が何か御馳走しようと云ひ出したけれども、おみつはそれを遮つて自分で使ひに立つた。

『ぢや今は丸つきり遊んでゐるんだわね。病氣は何うなの。醫者に診て貰つてるの』

『なにさう心配する程のものぢやないんだ。』

猫イラズを多量に嚥み下した二人が冷たな死體となつて、近所の人達がドサクサと駈摺廻り、最寄りの交番へ屆出たのは、翌朝、陽が東の空をボーッと染立つ頃だつた。

最近の廓淸運動

□廓淸會創立十週年記念大演說會第一日

九月二十五日本會創立滿十週年の記念大演說會を神田青年會館に午後六時半より開く。第一席島田會長は『廓淸會の十週年に』就て卷頭に掲ぐる如き講演をなし、第二席三輪田元道氏『國民生活の脅威』と題し、第三席安部副會長は『性慾敎育に就て』と題し、有益なる講演あり、九時過閉會、風雨に拘らず來會者七百人、

同　第二日

廿六日午後六時半同所に第二回の演說會を開く、伊藤秀吉氏は開會の辭を述べ、法學博士平沼淑郎氏は『廓淸の本義』と題し、第二席宮田脩氏は『藝妓存在の原因』に就て、第三席山室軍平氏は『藝妓論』と題し第四席久布白落實女史は『保護せられざる處女の貞操』に就て、各熱誠有益なる講演あり、十時閉會、來會者七百人。

同　第三日

廿七日午後六時半同所に第三回の演說會を開く、伊藤秀吉氏開會の辭を述べ、第一席内ケ崎作三郎氏は『日本の國民性批判』と題し、第二席高島米峰氏は『拒婚と離婚』と題し、第三席島田三郎氏は『國民の品位』と題し、各雄辯を振はれ、十時半閉會、來會者七百餘名。

□安部、内ケ崎、向三氏歡迎會並理事會

廿七日、神田小川町多賀羅亭に於て、最近歸朝せられたる安部磯雄、内ケ崎作三郎、向軍治の三氏の有志歡迎會を開く。午後三時理事會を開き今後の運動方法に就て協議し續いて歡迎會に入り、向氏は例のローマ字論、内ケ崎氏は廓淸運動の根本に就て、安部氏は社會問題の解決法は根本運動と應急手段と兩つながら必要なりと論じ、懇親を厚うして六時半散會した。出席者左の如し。

安部磯雄、内ケ崎作三郎、向軍治、島田三郎、三輪田元道、山室軍平、湯淺治郎、片山國嘉、志立鐵次郎、高島米峰、宮田脩、矢島楫子、小林友三郎、守屋東子、益富政助、福島四郎、早川眞八郎、高岩勇政、長谷川矩、池田晟　松宮彌平、曾根正敏、山田太郎、武部爲二、伊藤秀吉。

能代支部大會

能代　淺野吉十郎

刻下風敎頹廢を慨し、廓淸會本部應援の本に能代廓淸會支部は、去る八月三十一日夜七時半同地小學校に就て開く、時しも豪雨にかゝはらず來會者二百餘名を算し定刻理事淺野吉十郎氏起ちて開會を宣し續て座長に支部長西村莊右衛門氏推され滿場一致を以て左の決議をなせり

決議

本年四月町會議員の選擧に際し、常に醜業婦を使役し、世の風俗を毒し、人道の大戰に反する營業をなす醜業者が苟も町の名譽職に當選したるは社會風敎のため惡感化を及ぼすものと認め、此に斷然其處決を促す

終て風敎廓淸の演說會に移り本部特派員益富政助氏は『風敎の危機』と題して約二時間半に渉り引證適確論理整然たる大雄辯を振ひ滿堂の聽衆に多大の感動を與へて十時散會せり。

編輯之後

■世間では嘘も方便だとか、或は世渡り上手であるとか、若しくは馬鹿正直であるとか謂ふやうな辭が當り前でゞもあるかの如くに濫用されて居る。何うして嘘が方便になるのだらうか、僕には一向に分らない。僕等は小學校の小供時代から嘘は言つてならないと敎はつて來た。否それよりも以前から嘘を言うとお閻魔樣に舌を拔かれると聞かされて、嘘は泥棒の初まりだと戒められて來た。然かるに社會では我々が幼少の頃戒められたその嘘が方便であるといふ、全く不可解ならざるを得ぬ。況んや正直者が馬鹿扱ひにされ、實直な小僧は蹂んぜらるゝに到つては、呆れる程度を通り越して全く癪に觸らざるを得ない。

■夫れだから社會では何百年經つても泥棒の種も滅らなければ人殺も絕えないのだ。お蔭で我々は兢々として枕を高くして居る譯には往かないのだ。泥棒なんていふものは夜ばかりのものだと小供の時には思つて居たが、自動車に乘つたり大きな屋敷を構えて威張りかへつて居るのもあるのだから、愈々以て不可解だ。しかし畢竟之れも嘘も方便といふ惡藥の利き目だらう。そうして見ると、賄賂も收賄も或は當り前の事だらう。何んといふても、輸贏を爭ふことを刑法で禁じて居る我が國に、それを國粹と唱しその常習者を集めて保護して居る世の中なんだから、何事が起つた處で不思議はない筈だ。夫れを一々癇癪筋を立て物々しく騷ぎ立てるのはそれこそ馬鹿の骨頂であるかも知れない。

■本號は大變に遲れて仕舞ひ讀者諸子に對して何んとも御詫の辭もありません。實は本部では此の月に入つて以來非常に取り込みました爲めに。總べてに會員諸子の御期待に辜負する樣な結果になつて仕舞いました事は甚だ遺憾な事と存じますが、何卒御諒恕あらんことをお願致します。從來の遲刊は次號には定めし取り返へしのつく事であらうと存じますから、私としては茲に最後のお詫を申しておきます（足羽生）

■編輯を擔任されて居つた足羽君が、俄に御都合で辭職さるゝ事になりました。その爲め遂に九月號は發行が間に合はなくなりまして、熱心なる會員諸兄に對して甚だ申譯がありませんがお許しを願ひます。次號迄には是非適當な後任者を得て、皆樣の御期待に悖かぬ樣發行日もきちん〳〵行く樣にしたいと思つてゐます。

■廓淸會も愈々十年になりますが、大體に於て過去の歷史は卷頭に會長から盡されましたが、之を今數字に顯はるゝものだけを茲に書き記して見ますと、

一、演說總回數　約百三十回
一、辯士延人員　約五百人
一、出版物數　約三十萬部

であります、その效果は決して空しいものではないと確く信じてゐます、現に十年前を回顧して、公娼問題に對する社會の思想の變化、乃至男女問題に對する社會の思想の變化は著しいではありませんか。

■それで今度島田會長は、全國に廓淸運動の遊說をなさる筈で、私もお供したいと思つてゐます、各地會員諸君も、どうぞ此際十週年を一轉期として、會員の募集をそれ〳〵一人づゝでも二人づゝでも勸誘する事に心がくると共に、各地の風敎問題の爲めに御活動あらんことを切望します。決して我等の運動は空を打つが如きものではありません。御努力を祈る。（伊藤生）

大正十年九月十日印刷　（每月一日十日發行）
大正十年九月十日發行　（一部定價金二十錢）

編輯兼發行人　神田區今川小路二丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　本鄕區眞砂町三十六番地　佐藤駒次郎
印刷所　本鄕區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社
發行所　神田區裏猿樂町七番地　廓淸會發行所
電話神田四〇二〇番
振替東京二七〇七二番

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

◉御注文の際は必ず雑誌「廓清」によるよ旨を申添を乞ふ◉

酒きらいになる藥

禁酒丸

一週分　一圓五十錢
二週分　二圓八十錢
三週分　四　圓

どんな酒煙草のみでも寄なく心からきらいになる。郵券二錢送れば說明書及大澤博士其他名士の

禁酒禁煙論進呈

禁煙藥

煙草きらいになる藥

金壹圓　金貳圓　金參圓

本舗　大阪南堀江二丁目　森田商店

電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二一二六番

産婦人科。小兒科

富山改め

女醫　吉岡彌生

△院長診察　宅診午前　往診午後
△醫員診察　午後

産室及病室の設けあり臨時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

新刊

侯爵　大隈重信　序
博士　プリンス・マロー　著
文學士　小松武治　譯

健康と性慾

三六版百七十頁
特價五拾錢稅八錢

廓清會本部發行

自宅獨習生徒募集

居乍ら裁縫學校の卒業が出來る

大發展の爲め神田今川小路より小石川大塚仲町へ新築移轉し新に會員の大募集

▼裁縫は女の命 良妻賢母の第一修養と云はる、程の大切なもので、學問はしたが裁縫の稽古が足りなかつた爲、お姑さんには毎日厭味をいはれ小姑に嘲られ人には恥をかき一生どれ程の苦勞をせなければならぬか分りません。けれどもこれ迄は自分の内に居て獨習するといふ事は全く出來なかつた。其は裁縫が從來組織的に研究されず、仕立屋流に練習一つであつたからで、今日は漸く裁縫を學問として學校で教へる樣になつて來たが今一歩進めば地理や歴史と同樣、讀みさへすれば誰にでも分る筈のものです。そこで數年前から東京の教育社界では色々研究してゐましたが、遂に日本裁縫教育會では、

▼文部省の檢定 試驗委員や東京第一の共立女子職業學校の一流の先生博士達が集まり苦心の結果、一々細かな圖解を加へて裁方も標附も縫方も手を取つて教へるやうに、學校で教へる通りに誰にでも分る樣に説明した講習録を作り、會員に試みた處成績頗る優良で、全國より山の如き感謝狀と共にり來る卒業試驗成績品を見ても、東京の裁縫學校卒業生と少しも劣らぬので、教育社界は女子教育上の大革新と狂喜して、其講習録を教科書に用ひたいと申込んで來る學校も不尠、非常な成績なので、新聞雜誌は筆を揃へて賞讃し、入會者は毎日潮の如し

▼皇后陛下天覽 の榮を賜ひ、高宮殿下御五方の台覽をさへ賜はつた。此の講習録には和服洋服、小物袋物細工物の外、檢定試驗に必要な國民道徳、教育學、教授法、洗濯色染、試驗問題解迄も丁寧に教へある故、通學の出來ぬ女子は勿論、家庭の主婦の歡迎頗る盛にして、學校教員、受驗者最も多く各種女學生も陸續入會し、既に五萬人の卒業生を出すの盛況である。月謝に僅に五十五錢一ヶ年で卒業する。詳細は下記の處に見本附規則書を二錢切手封入請求すれば、直ちに送つてくれる。

東京小石川大塚仲町 **日本裁縫教育會** 電話 神田四〇二〇番 小石川二八九七番 振替東京三三〇七六

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

●廣告主へ御用の際は必ず雑誌「廓清」による旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

——→Dr. K. TAKATA←——

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

副長（新任） 醫學士 岡本鑑雄

診察毎朝（但祭日及日曜の他）

院長 診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附上）

電話九段（六二番 六三番）

東洋内科醫院

院長 醫學博士 **高田畊安**

電話ちがさき二番

南湖院

相模國茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後 入院診後應需

診察毎日午後 但祭日及日曜の他

©募集——看護婦志願者及雑事婦

眉目清秀
クラブ洗粉
安全剃刀
カテイ石鹸
一番歯の為に良い
クラブ歯磨
醫學者間でも好評第一
新型の書きよい萬年筆
プラトン萬年筆

定價一冊金二十錢